

大学の地域連携事業一覧表

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先		連携内容等
					連携期間		
植草学園大学・植草学園短期大学	1	<大学> 発達教育学部 保健医療学部 <短期大学> こども未来学科	若葉区と植草学園大学及び植草学園短期大学との協定	地域連携推進室	若葉区役所		植草学園が実践する教育、保健医療分野にわたる多様性を活かし、より広範な分野で若葉区と相互に人的資源等を活用し、地域社会の発展をより積極的に推進していくために、相互連携に関する協定を結びました。これにより、若葉区や地域団体等と植草学園との恒常的な連携を図るため、定期的に協議する場を設定し、情報共有の促進や、連携事業の意思決定の迅速化など、連携の効果的かつ効率的な推進に努めています。 これまで、若葉区内の団体等への学生ボランティアの派遣をはじめ、区地域活性化支援事業への参画、区民対話会・区支え合いのまち推進協議会への参加、ラジオ体操講習会の会場提供、災害時における協力体制の検討等を進めています。 活動例としては、令和4年2月17日には、若葉区長と本学学生11名による対話会が、開催されました。「若者世代の投票率を高めるには」というテーマで、対面による活発な意見交換が行われました。 令和5年度は、7月20日に千葉市と本学学生10名が「千葉開府900年に向けた意見交換」を行い、事業アイデアなどについて意見交換を行いました。 また、例年、若葉区長等に本学主催の「高校生プレゼンテーションコンテスト」における審査員や「ビオトープ祭り」への参加協力などを依頼しています。
	043-239-2646			平成24年10月～継続中			
	2	<大学> 発達教育学部 保健医療学部 <短期大学> こども未来学科	公開講座	地域連携推進室	地域住民		コロナ禍を受け、令和2年度は対面方式の公開講座は当面休止とし、リモート形式の公開講座については、実験的取り組みとしての1講座開講に止まりました。令和3年度は、予定されていた10講座について中止せざるを得ませんでした。リモート形式の活用などにより、対面5講座、リモート3講座を実施することができました。 令和4年度対面7講座、リモート5講座実施。令和5年度は対面4講座、リモート11講座を実施するなど、講座数も回復しています。
	043-239-2646			平成28年7月～継続中			
	3	<大学> 発達教育学部 保健医療学部 <短期大学> こども未来学科	植草学園大学・植草学園短期大学子育て支援・教育実践センター	子育て支援・教育実践センター	地域住民		地域に開かれた大学として、「植草学園大学・植草学園短期大学 子育て支援・教育実践センター」を置いています。小倉キャンパスに「こいっくおぐ」、弁天キャンパスに「こいっくべん」という親子でくつろげる場を設置し、子育て家庭に対する安心して子育てできるためのサポートの機会と場を提供する事業を展開しており、多くの親子の方々に利用していただいています。 コロナ禍の対応として家族数を限定するなどの工夫を行いながら運営してきましたが、令和5年度は制限なく受け入れています。
043-239-2602	平成21年10月～継続中						
4	<大学> 図書館 総務課	職場体験学習への協力	学術情報室 総務課	千葉市立若松中学校 千葉市立高等特別支援学校		大学に隣接する市立中学校の職場体験学習の一環として、平成22年度からコロナ禍前まで、毎年にわたり生徒3～5名程度を受け入れ、2日間の体験学習に協力してきました。 図書館担当の職員を中心に、本学学生による図書館協カスタッフ数名の協力を得て、学内見学をはじめ、図書館業務のうちから、カウンターにおける図書の貸出・返却受付、図書の配架整理あるいは配架用ラベルの貼り付けなどの業務を実地に行うこととしています。 一方、千葉市高等特別支援学校の生徒さんの職場体験学習の一環として、現在も、本学のキャンパス内の清掃業務等に1グループにつき1週間従事する作業を、2週間にわたり取り組む機会を設けています。	
043-233-9322 043-239-2646			<若松中> 平成22年6月～令和元年 <高等特支> 受け入れ中				
5	<大学> 発達教育学部 保健医療学部 <短期大学> こども未来学科	災害時における災害時要援護者への支援に関する連携	地域連携推進室	千葉市障害企画課 千葉市防災対策課		災害時における要援護者への支援として、市が開設する福祉避難所へ学生ボランティアを円滑に派遣する仕組みを検討するとともに、本学園施設を「拠点福祉避難所」として市の指定を受ける方向で、具体的な避難所運営体制等について検討・協議を進め、平成29年3月9日に市から大学として初めて「拠点福祉避難所」の指定を受けました。 この指定は令和2年度末で解除されましたが、これまでの取組のレガシーとして、「HUG研修（避難所運営ゲーム）」に関連した避難所の在り方などを考える授業を、大学の授業として組み入れ、専門の講師を招いて現在まで継続的に実施しています。 また、令和3年度は、災害時に本学の駐車場や校舎の一部を避難場所として提供できるように、千葉市の防災対策課と協議し、連携協定（令和4年5月31日施行）を締結しました。	
043-239-2646			平成25年10月～令和2年 （拠点福祉避難所） 令和4年5月～継続中 （災害時の一部施設提供）				

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
植草学園大学・植草学園短期大学（続き）	6	<大学> 発達教育学部	パラスポーツ交流会の開催 パラスポーツ振興の拠点化に向けた取組「うんどうあそび教室」の開催	遠藤研究室	千葉市スポーツ振興課	千葉市と連携し平成30年度から実施している「パラスポーツ交流会」では、学園祭に当てて、ピアヘルパーサークルの学生が運営主体となったパラスポプロジェクト実行委員会が「ポッチャ体験会」を開催し、障害のある人や本学学生及び子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域住民の方々が大勢参加し、パラスポーツ競技の理解やパラリンピック開催の気運の醸成等に寄与してきました。 令和2年度、3年度は、コロナ禍のため、実施できませんでしたが、令和4年度から復活し開催しています。 また本学では、共生社会の実現という理念に基づき、パラスポーツ普及振興の拠点化に向けた構想の具体化を進めています。 例えば、①初級障害者スポーツ指導員資格認定に向けた授業構築 ②体育実技と並行してパラスポーツ実技を取り入れるなど、パラスポーツの経験や学習機会の拡大③地域のパラスポーツ団体による大学運動施設の利用などに向け取り組んでいます。 また、千葉市からの支援を受け、年間4回の「うんどうあそび教室」を本学主催で開催し、障がいをもつお子さんがスポーツのよろこびを味わえる場を提供しています。
	043-239-2501			平成30年度～継続中		
植草学園短期大学	7	<短期大学> こども未来学科	どこでもこどもカフェ運営支援事業	田村研究室	千葉市こども企画課	千葉市こども企画課と連携し、令和元年度から開始している「どこでもこどもカフェ」事業の運営支援を行っています。以前より、千葉市で展開されてきた「こどもカフェ」を全市に展開させるための事業で、令和3年度は13カ所で開催されている。子どもの居場所づくりとして、アドバイザーの派遣、事業者会議の実施、ならびに学生他、ボランティアのマッチング支援などを行っています。令和3年度は、コロナ禍においても工夫しながら一層、千葉市に子どもの居場所が展開できるよう支援を続けていきます。令和4年度は15カ所、令和5年度は18カ所となりました。
	043-233-9338			令和元年度～継続中		
神田外語大学	1	外国語学部 グローバルリベラルアーツ学部	学習サポートボランティア	産官学・地域連携部ボランティア統括チーム	千葉市教育委員会	千葉市教育委員会からの依頼を受け、近隣の小学校、中学校学校の授業をサポートするボランティアを送り出しています。大学で学んでいる外国語を活かして、外国に背景を持つ生徒の学習補助にも携わっています。
				043-273-1337	継続中	
	2	外国語学部	公開講座（語学）	産官学・地域連携部連携支援チーム	社会人	社会人を対象とした英語、中国語、韓国語、スペイン語講座を少人数制で開講しています。外国語の4技能（読み・書き・聞く・話す）の修得に加えて、外国の文化にも触れる講座です。開講時期は年2回、前期5月～7月（全10回）と後期9月～12月（全10回）です。実施方法は対面とオンラインがあり、講座によって異なります。 「生涯学習」 http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/lifelong/languages/
				043-273-1285	平成15年～継続中	
	3	外国語学部 グローバルリベラルアーツ学部	「幕張新都心クリーンの日」清掃活動	産官学・地域連携部ボランティア統括チーム	千葉市幕張新都心課	千葉市幕張新都心課が行っている「クリーンの日」の活動に参加しています。自分たちの街をきれいに保つという目的の下、幕張新都心の企業や団体と共に、学生と職員が地域の清掃活動に寄与しています。
				043-273-1337	平成16年～継続中	
	4	外国語学部 グローバルリベラルアーツ学部	高校生対象「幕張新都心ビジネススクール」	産官学・地域連携部連携支援チーム	千葉市雇用促進課・幕張新都心に本社・事業所を持つ企業	千葉市・幕張新都心の企業と連携して次世代のアントレプレナーを育てることを目的に、市内の高校生を対象としたビジネススクールを実施しています。 経済・金融、流通の仕組みをさまざまな分野から学べるよう、毎年異なる企業と連携しています。
043-273-1598				平成26年～継続中		
5	外国語学部 グローバルリベラルアーツ学部	初期医療言語サービスボランティア研修	産官学・地域連携部ボランティア統括チーム	千葉県立保健医療大学	地域のグローバル化に伴い、緊急医療の初期対応や応急手当を外国語でサポートする必要があると考え、千葉県立保健医療大学と連携して、外国語による応急処置体験講習会を実施しています。	
			043-273-1337	令和元年9月～ (R2年度以降はコロナ禍で実施なし)		
6	外国語学部 グローバルリベラルアーツ学部	ちばアクアマリンマラソン	産官学・地域連携部ボランティア統括チーム	ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局	千葉県からの依頼を受け、学生ボランティアが、外国語通訳や給水・給食・ランナー誘導等で大会をサポートしています。	
			043-273-1337	平成29年～継続中		
7	外国語学部 グローバルリベラルアーツ学部	千葉シティトライアスロン	産官学・地域連携部ボランティア統括チーム	千葉シティトライアスロン実行委員会	千葉市トライアスロン協会からの依頼を受け、学生ボランティアが、トライアスロン大会の運営支援、選手サポートをしています。	
			043-273-1337	平成29年～継続中		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
神田外語大学 (続き)	8	外国語学部 グローバルリベラル アーツ学部	英語で楽しむ親子お 話会	学生団体「Hello Time」	千葉県美浜図書館	学生ボランティア団体が、地域の小学校や美浜図書館及び打瀬分館にて、幼児～小学生とその保護者を対象に、英語の本の読み聞かせ等を行っています。
				043-273-1337	令和元年～継続中	
	9	外国語学部 グローバルリベラル アーツ学部	スイス・クリスマス マーケット	産官学・地域連携部ボ ランティア統括チーム	千葉県国際交流課、在日 スイス大使館	千葉県と姉妹都市であるスイス・モントルー市との友好親善を深め、市民の国際理解を広げることを目的に千葉県行っているクリスマスマーケットに協力しています。スイス製クリスマスグッズの販売やキッチンカーでのスイスグルメの提供等、多くの学生ボランティアがイベントをサポートしています。
				043-273-1337	平成4年～	
	10	外国語学部 グローバルリベラル アーツ学部	幕張イチゴマルシェ	産官学・地域連携部ボ ランティア統括チーム	千葉県、株式会社幕張 メッセ、幕張メッセ関連 企業懇談会	千葉市のイチゴ農家及び幕張新都心のイチゴスイーツの地元へのPRとして行い地域活性化に繋げるイベントを多くの学生ボランティアがサポートしています。
				043-273-1337	令和5年～	
	11	留学生別科	地域小学校との国際 交流	国際戦略部	近隣小学校	地域貢献と国際交流を目的に、本学の留学生（中国、韓国、インドネシア、ベトナム、アメリカ、メキシコ、ブラジル等）が近隣小学校（幕張南小学校）を訪問しています。留学生の出身地や有名なものを紹介する、児童の発表を聞く、日本の遊びを児童と行うなどの活動を行っています。
				043-273-1615	平成14年～現在	
12	留学生別科	NHK千葉放送局と のガイドブック作成	国際戦略部	NHK千葉放送局	訪日外国人向けに千葉県の特産や観光地、防災に関して発信するガイドブック作成に本学の留学生（韓国、中国、スウェーデン、ベトナム）が協力しました。千葉大学や盟友日本語学院の留学生も参加し、ガイドブックのレイアウトや掲載内容について討議しました。	
			043-273-1615	令和5年～令和6年		
13	留学生別科	千葉県旅館ホテル組 合との防災訓練	国際戦略部	千葉県旅館ホテル組合	災害時の外国人宿泊者の誘導訓練に本学の留学生（中国、ベトナム、韓国）が参加しました。訓練では、誘導に従わなかったり、日本語が話せないふりをして実際に想定されるトラブルを模擬的に発生させました。また、VRゴーグルを使用した地震を体験し災害への対処法を学びました。	
			043-273-1615	令和5年		
14	留学生別科	地域高等学校との国 際交流	国際戦略部	近隣高等学校	近隣高等学校（幕張総合高校）と留学生別科所属の留学生の交流会を実施しています。高校生が本学を訪れる日と、本学留学生が高校を訪れる日の2日間に亘り、学校内見学や文化紹介、交流会などを行います。留学生にとっては、大学関係者以外の地域コミュニティへの参加体験、高校生にとっては外国人留学生の交流体験という貴重な場になっています。	
			043-273-1615	?～現在		
15	外国語学部 グローバルリベラル アーツ学部	多文化共生ワー クショップ	国際戦略部	千葉県国際交流課	千葉県多文化共生のまちづくり推進指針の見直しとアクションプランの策定検討のために、本学学生と千葉市民の方（一般公募）を対象とした千葉県と本学が連携して意見交換ワークショップを行いました。テーマ：8/25「外国人市民への支援」、9/13「外国人市民の活躍機会の創出」	
			043-273-1615	令和4年（8/25、9/13）		https://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/kokusai/workshop2022.html

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
敬愛大学	1	経済学部 国際学部 教育学部	千葉県インターンシップ推進委員会	キャリアセンター	千葉県、千葉市、千葉県経営者協会、千葉県商工会議所連合会、千葉県中小企業家同友会、(株)マイナビ他	千葉県内11大学の就職担当課が連携し、千葉県内の大学と地元企業・団体等の連携を一層深化させ、インターンシップ等の取り組み拡大のための事業を行っています。(現在は神田外語大学が代表校) 具体的には「千葉県インターンシップフォーラム」「千葉県インターンシップマッチングフェア」「千葉限定キャリアインカレ」を主催し、大学生の就業意識の涵養や地元就職の意欲向上に努めています。
				043-284-8333	平成26年～継続中	
	2	経済学部 国際学部 教育学部	千葉県夢チャレンジ体験スクール「キャリア教育しごと体験スクール」	地域連携センター	千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	県内の中学生・高校生を対象に、2日間の職場体験を軸とした連続4日間の研修を実施しています。県内の有力企業(成田空港関連、金融、ホテル、メディア関連)での職場体験とともに、体験前後はグループワークでの学習やプレゼンテーションなどを行い、理解を深めています。 本学は実行委員会に参画すると同時に、運営協力員として学生を4日間派遣して、参加生徒の研修を支援しています。
				043-251-6364	平成23年4月～継続中	
	3	経済学部 国際学部 教育学部	千葉市夏休みおしごと感動体験ワクワクワークデー	キャリアセンター	千葉市経済企画課	千葉市内の小学生に職場体験を実施しています。千葉駅周辺の企業とも連携し、令和5年度は計78事業所で、小3～6年生856人が、普段は経験できない「おしごと」を楽しみながら学べました。本学は実行委員会に参画し、当日は小学生や保護者の受付、誘導、記録などを担当しています。
				043-284-8333	平成26年～継続中	
	4	経済学部 国際学部 教育学部	職場体験学習受入の件	地域連携センター	千葉市内中学校	小中台中学校とは平成24年度から、草野中学校とは平成29年度から、それぞれの2学年生徒の職場体験学習に協力し、毎年生徒3～5名程度を受け入れ、3日間の体験学習に協力しています。小仲台小学校はメディアセンターで大学図書館業務を、草野中学校は生涯学習センターで教室運営を中心に、実務を中心とした職業体験学習に取り組んでいます。 ※令和2年度以降は、中断しています。
				043-251-6364	平成24年～継続中	
	5	経済学部 国際学部 教育学部	JR稲毛駅東口商店街振興組合、小仲台商栄会との連携事業	大学運営室	JR稲毛駅東口商店街振興組合、小仲台商栄会	大学の最寄駅である稲毛駅の周辺に展開する商店会と大学が、包括的な連携のもとに、広範な分野で相互に資源等を活用し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展および人材の育成に寄与することを目的としています。経済学部の教員と学生が中心となり、小仲台商栄会の活性化に向けて「町おこしプロジェクト」に取り組んでいるほか、JR稲毛駅東口商店街振興組合の間では、地域商店街の比較研究の結果を同組合に提案し、その後共同でアンケート調査を実施するなど、連携を図っています。
043-251-6363				平成26年～継続中		
6	経済学部 国際学部 教育学部	「穴川コミュニティセンター避難所」運営委員会への参加	地域連携センター	穴川コミュニティセンター避難所運営委員会(穴川町会)、稲毛区役所	大学に近接する避難所の運営委員会に職員を派遣して共助の体制を取るほか、避難所開設・運営訓練では学生も動員して訓練に参加しています。 ※令和2年度に感染症に配慮した新しい訓練内容を提案しました。 また令和3年度は帝京平成大学から専門家を招き、安全衛生についての講話を行いました。	
			043-251-6364	平成28年～継続中		
7	経済学部 国際学部 教育学部	生涯学習センターの運営	地域連携センター	千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉市生涯学習センター	社会人を対象とした学習機会の提供に資するため、生涯学習講座を提供しています。当初は大学正課授業の公開と語学講座、PC講座からスタートしたが、現在ではJR稲毛駅前のサテライトキャンパスで、「世界とつながる」「世界を知る」「教養を高める」「生活を豊かに」「仕事に役立つ」「キッズ」の6分野で講座を提供し、令和5年度は約1,300名の市民が受講しました。 https://lifelong.u-keiai.ac.jp/	
			043-251-6364	平成18年度～継続中		
8	経済学部 国際学部 教育学部	稲毛区と区内3大学の連絡調整会議	地域連携センター	稲毛区地域づくり支援課	「文教のまち・稲毛」を標榜する稲毛区にある大学(千葉大学、千葉経済大学、本学)が年2回、区長と直接意見交換を行いながら、地域活性化、地域問題解決に関する情報を共有し合っています。	
			043-251-6364	平成21年度～継続中		
9	経済学部 国際学部 教育学部	稲毛区との連携事業	地域連携センター	稲毛区地域づくり支援課	令和5年度は、「稲毛区GO近所さんぽ 身近な魅力を再発見！」(5/21)の講師紹介、「ポッチャ体験会@イオン稲毛店」(11/1)をはじめ、地域行事での常時連携を行っている。	
			043-251-6364	平成21年度～継続中		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
敬愛大学 (続き)	10	経済学部 国際学部 教育学部	いなげポッチャカップ	地域連携センター	稲毛区地域づくり支援課 千葉大学、千葉経済大学	前述の「稲毛区と区内3大学の連絡調整会議」において、本学から提案した取り組みの一つとして、令和元年度にスタートしました。大変好評であったこと、また稲毛が「ポッチャゆかりの地」であることから継続が決まりましたが、令和2年度は中止となりました。令和5年度（第5回カップ）は、2月18日に開催予定です。
				043-251-6364	令和元年度～継続中	
	11	経済学部 国際学部 教育学部	「パラスポーツフェスタちば」をはじめとするパラスポーツ事業	地域連携センター	千葉県生涯スポーツ振興課、千葉市スポーツ振興課、千葉市スポーツ協会、日本ソフトパラフェンシング協会ほか	開催にあたり学生実行委員の派遣、当日の運営ボランティアの派遣等を通じて、パラスポーツの普及やパラリンピックの機運醸成に資する事業に取り組んでいます。東京2020大会のレガシー創出の成果として複数大学（帝京平成大学、植草学園大学、千葉大学、敬愛大学）で考案した「ソフトパラフェンシング」の普及啓発にも、協力しています。「第1回大学対抗シッティングバレーボール交流大会2023」（令和5年3月）にサークルを紹介し、初体験の学生たちながらチームとして参加する機会を得ることができました。
				043-251-6364	平成29年度～継続中	
	12	経済学部 国際学部 教育学部	千葉市への委員派遣	地域連携センター	千葉市生涯学習センター	千葉市生涯学習センター「利用者懇談会」、「市民自主企画講座選考委員会」の委員に、本学職員が就任。学校教育や社会教育への助言を行っています。
				043-251-6364	令和2年度～継続中	
	13	経済学部 国際学部 教育学部	千葉市立稲毛高等学校との連携教育協定に基づく各種事業の展開	地域連携センター	千葉市立稲毛高校・附属中学校・国際中等教育学校	稲毛高等学校との連携協定締結により、探求活動への指導助言を強力に推進しています。また市教委が申請し採択された同校「文部科学省地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」（令和元～3年度）の指定は終了しましたが、引き続き連携協定に基づき、事業を継続的に実施しています
043-251-6364				平成30年度～継続中		
14	経済学部 国際学部 教育学部	ちば産学官連携プラットフォーム「ちば学リレー講座」等	(幹事校) 地域連携センター	ちば産学官連携プラットフォーム参画校、千葉市生涯学習センター	共同の公開講座を千葉市周辺の住民を対象に開催し、プラットフォームのめざす「地域の発展と課題解決に寄与する」ことを目的としています。プラットフォームに参加する大学・短期大学が持つ豊かな研究資源を活かし、千葉（市）に関する研究や話題を「ちば学」と位置づけ、様々な側面から紐解く講座を継続しています。またプラットフォーム参画校から公民館や町内自治会への講師派遣のコーディネート役も務めています。（本学は当事業の幹事校です。）	
			043-251-6364	令和元年度～継続中		
15	経済学部 国際学部 教育学部	ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム	地域連携センター	ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム、千葉市雇用推進課等	令和3年度に設立された産学官のコンソーシアムに設立時会員として加盟し、「西千葉こども起業塾」などの運営に微力ながら協力しています。	
			043-251-6364	令和3年度～継続中		
16	経済学部 国際学部 教育学部	小学校での模擬選挙	地域連携センター	千葉市選挙管理委員会	千葉市選挙管理委員会が実施している小学校での模擬選挙に、本学学生が立候補者等の役目をいただき、主権者教育に関わっています。令和2年度から本学にもお声がけいただき、4年間で8小学校の模擬選挙に協力しました。ゼミとして取り組むだけでなく、学部や学年の枠をこえた希望者が参加する回も設けています。今後の取り組みを促進するため、令和5年度は動画も作成しました。	
			043-251-6364	令和2年度～継続中		

大学名	No.	学部名	事業名	連携先		連携内容等
				担当及び連絡先	連携期間	
淑徳大学	1	総合福祉学部	千葉市防災会議	地域連携室 043-265-7340	千葉市危機管理課 平成25年～継続中	千葉市における地域防災計画を作成し、その実施を推進し、また、水防計画についても調査審議を行っています。千葉市防災会議男女共同参画の視点を取り入れるべき部会の部会長を担当しています。
	2	全学部	淑徳大学学生消防隊 (千葉市消防団中央区方面隊第3分団5部として活動)	地域連携室 043-265-7340	千葉市消防局 千葉県消防課 平成22年～継続中	全国でも稀な大学キャンパス内に活動拠点(詰所)を置く大学生消防団が、千葉市消防団中央区方面隊第3分団5部(大蔵寺)として、日々の訓練や小型ポンプ操法大会への参加、近隣の保育園や小学校、町内会で、防災について説明指導に出向くなど地域支援活動に取り組んでいます。 例年、千葉県内の3大学消防隊(千葉科学大学・帝京平成大学・淑徳大学)と協力しながら合同訓練を淑徳大学の学園祭等で実施しています。新型コロナウイルス感染症対策の為、長らく学園祭での活動・連携が中断されていましたが、2023年10月、消防車の展示等の合同企画を再開いたしました。
	3	全学部	千葉市動物公園 ドリームデイ・アット・ザ・ズー	地域連携室 043-265-7340	千葉市動物公園 平成22年～継続中	オランダの動物園発祥で国際的な広がりを見せている「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」は、障がいを持つ子どもたちとその家族を招待して楽しい一時を過ごしてもらうもので、千葉市動物公園開園25周年記念事業の一環として平成22年夏より淑徳大学と共催しています。 新型コロナウイルス感染症対策の為、長らく休止をしておりましたが、令和5年7月より活動を再開いたしました。
	4	コミュニティ政策学部	白旗七夕まつり	サービスラーニングセンター 043-265-7911	白旗町内会、白旗商店街 平成16年～継続中	毎年7月第1土曜日に地元の白旗町内会と共催で「白旗七夕まつり」を開催しています。白旗町内会の活性化に向けて、学生の日頃から培ってきた力を発揮するイベントとして、地域の方々の力を結集した取り組みです。 新型コロナウイルス感染症対策の為、2019年から中止となっておりましたが、2022年より再開され、2023年7月1日(土)には4年ぶりの歩行者天国を復活して、実施いたしました。 淑徳大学 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00002752.html
	5	総合福祉学部	千葉市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	総合福祉学部 043-265-7331	千葉市保健福祉総務課 平成20年9月～継続中	平成18年3月に策定された千葉市地域福祉計画及び各区地域福祉計画について、計画の進捗状況及び今後の推進方法について調査審議することを目的に開催されています。
	6	コミュニティ政策学部	蘇我中学校地区コミュニティづくり懇談会	コミュニティ政策学部 043-265-7331	千葉市第9地区(蘇我中学校地区)町内自治会連絡協議会 平成22年4月～継続中	淑徳大学と地域自治会を中心としたコミュニティをつくり、これを効率的に推進することを目的としています。
	7	全学部	コラボ産学官	地域連携室 043-265-7340	コラボ産学官 千葉支部 平成19年9月～継続中	<ul style="list-style-type: none"> ■全国の教育研究機関を核に、地域の企業及び国・地方自治体の連携を推進するネットワークを支援する事業 ■産学官連携や知的財産に関する各種セミナー、研究会、講演会等の開催 ■産学官連携及び知的財産に携わる人材育成や人材交流の支援 ■産学官連携による新規事業、ベンチャー企業等の支援 ■産学官連携及び知的財産にかかわる情報収集と会員への発信 ■会員相互の協力や関係学会及び関係組織との協力の奨励、助成及び促進 ■その他本支部の目的達成に必要な事業及び活動
	8	看護栄養学部	地域ふれあい広場 「ひだまり」	看護栄養学部 043-305-1881	松ヶ丘中学校区町内自治会連絡協議会 平成24年～	松ヶ丘地区に平成24年7月に誕生した「ひだまり」は、老若男女を問わず誰もが気軽に立ち寄れる地域ふれあい広場です。月2回の予定で看護栄養学部の教員による健康と栄養相談、血圧測定・身長・体重・BMI(肥満度)などチェックも行われます。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
淑徳大学 (続き)	9	コミュニティ政策学部	長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会	サービスラーニングセンター 043-265-7911	千葉市スポーツ振興課、 千葉市スポーツ協会 平成23年～継続中	車いすバスケットボールの魅力により多くの人びとに知ってもらいたいという思いで集まった学生有志の実行委員会が大会企画・資金集め・運営すべてを担っており、日本代表クラスの選手が多数参加する全国トップレベルの選抜大会という二つの特徴をもつ大会として2011年から淑徳大学のアリーナにて開催してきました。平成26年からは車いすスポーツの普及を掲げる千葉市との連携のもと、会場を千葉ポートアリーナに変更し、より規模を拡大しています。令和5年2月26日(土)、27日(日)に開催された第12回大会では、4年ぶりの有観客での実施となりました。今年も令和6年3月2日(土)、3日(日)、第13回大会を千葉ポートアリーナにて開催予定です。
	10	コミュニティ政策学部	千葉ロッテマリーンズ・プロジェクト	サービスラーニングセンター 043-265-7911	千葉ロッテマリーンズ、 千葉市観光MICE企画課 平成20年～継続中	観客動員数が低迷する千葉ロッテマリーンズの観客動員数の増加を目標に掲げる学生のサービスラーニング・プロジェクトです。近隣の白旗七夕まつりや近隣の小中学校などへの学生によるPR活動をおこない、球場初観戦の方やリピーターを増やすことで、千葉ロッテマリーンズの観客動員数アップにつなげるとともに、学生たちは自らで企画、プレゼン、スケジュール管理など社会人基礎力を磨いています。千葉ロッテマリーンズ、千葉市集客観光課の方々にも発表会に参加していただき、学生たちと一緒にご指導いただいています。
	11	コミュニティ政策学部 地域創生学部	こども・若者市役所	埼玉キャンパス事務部 049-274-1511	千葉市こども企画課 平成28年～継続中	千葉市のこども・若者の社会参画事業の取り組みのひとつである「こども・若者市役所」事業を受託しています。
	12	コミュニティ政策学部	みんなの広場	サービスラーニングセンター 043-265-7911	まちづくり支援 みんなの広場 平成28年4月～継続中	地域公益活動を支える拠点事業おゆみ野地域には、地域づくりに関わる個人や団体があり、活動を支えるための環境整備が求められています。活動しやすい環境を備えた場の提供をし、公益的な活動をしている個人や団体に活動準備の場や情報を提供し、新たな活動に取り組む個人や団体にはその相談に応じ、情報収集を支援する。また親しみやすい拠点となるために、自由に出入りができ、交流を図る機会を設ける。さらに、大学と連携することにより、地域が必要としている専門的知見と若者の力の活用とともに、学生の経験値も高まることを期待する。地域の個人や団体、そして大学や学生がつながる機会と場を作り、地域活動に取り組みやすい環境を持つ拠点を整備しています。
	13	コミュニティ政策学部	おゆみ野カフェ こどものまち	サービスラーニングセンター 043-265-7911	おゆみ野café(地域住民) 平成28年～継続中	千葉市緑区おゆみ野地域の住民有志とともに、毎月1度、屋外型の多世代交流の場「おゆみ野カフェ」をおゆみ野地区内の公園にて開催しています。3月の活動として実施した「おゆみ野カフェ こどものまち」(平成26年度3月26日@鎌取コミュニティセンター)には、400名を超える地域の子どもの参加が得られました。
	14	全学部	中央区のまちづくりに関する協働・参画	地域連携室 043-265-7340	中央区地域づくり支援課 千葉市市民自治推進課 平成29年～	中央区におけるまちづくりや地域の課題解決、地域活性化の取り組みにおいて、協働・協創を進める。特に、中央区内の地域運営委員会の活動を支援するため、淑徳大学が有する資源(人的資源、学術研究の成果)を活用しながら、地域・行政・大学の連携を通じた地域マネジメントモデルの構築を進めています。
	15	全学部	介護人材の確保・定着の促進	地域連携室 043-265-7340	千葉市介護保険管理課 平成29年～	今後想定される介護人材の不足を補うため、介護ロボットの普及や外国人材の活用など様々な施策を推進することとしています。そこで、これらの施策についての普及啓発として、淑徳大学の有する介護分野に関する豊富な知見を活用し、大学講師による先進的な取り組みに関する講演をはじめ、介護人材の確保・定着に向けた連携を進めています。
	16	看護栄養学部	食品関連事業者と連携した新商品の開発	看護栄養学部 043-305-1881	千葉市産業支援課 平成29年～	千葉市内及び近隣地域では、様々な農林水産物が生産されており、地域経済活性化と地産地消の推進のため、これらの地場産品を活用して食品開発を進める事業者と、栄養学の権威である淑徳大学の連携による新しい食品、新しいメニューの創造を狙い、淑徳大学と市で連携を進めています。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
淑徳大学 (続き)	17	全学部	「緑と水辺の基金」 事業における連携	地域連携室	千葉市緑政課	寄附付自販機の設置・基金パンフレット等広報物の配布など、基金の募金・広報活動において連携をしています。 (「ちょいサポ宣言」「募金箱デコリ隊」)
				043-265-7340	平成29年～	
	18	看護栄養学部	沐浴教室の開催	看護栄養学部	千葉市健康支援課	地域貢献の一環として、妊婦とその家族を対象に沐浴教室を月1～2回ペースで開催しています。そこでは新生児の抱っこや沐浴の方法について説明した後、母性小児実習室で実際に抱っこや沐浴の体験をしていただいております。学生もボランティアとして参加し、母性看護学実習の見学実習の一つに位置付け、学んできた知識や技術を提供しながら参加者と楽しくコミュニケーションを図っています。
				04-305-1881	平成29年度～	
	19	看護栄養学部 総合福祉学部	ふれあい食事サービ ス(配食サービス)	地域連携室	中央区地域づくり支援課、千葉市社会福祉協議会中央区事務所、同白旗地区部会	千葉市中央区第九地区(蘇我中学校地区)に居住する高齢者等に対し食事サービスを提供する事業について、千葉市中央区役所地域づくり支援課、千葉市社会福祉協議会中央事務所より協力依頼があり、大学近隣の高齢者への食事サービスおよび独居高齢者等への声掛けを行うため、自治体、地域と大学が連携してふれあい食事サービス(配食サービス)を開始しました。 食事のメニュー開発は看護栄養学部栄養学科の教員と学生が試作から検食を担当し、従来地域の民生委員らが手作りで調理していたお弁当は、新型コロナウイルス感染症対応の為、大学学生食堂にて調理を担当することとし、民生委員や福祉部会メンバーと学生ボランティアと一緒に各戸を訪問して、高齢者にお声掛けをしながらお届けしています。 ※令和3年度は月1回、令和4年度より月2回、実施中です。
				043-265-7340	令和3年～継続中	
20	総合福祉学部	小中学校への学校ボ ランティア参加	地域連携室 保育・教職課程セン ター	千葉市教育委員会教育指 導課	平成30年度(2018年5月)より、大学を通じて千葉市内の小中学校の生徒の学習支援・生活支援全般のサポート(特別支援学級を含む)の学生ボランティアを毎年募集・派遣しています。	
			043-265-7340	平成30年～継続中		
21	コミュニティ政策 学部	生実町花火大会	地域連携室	生実町町内会	生実町町内会と連携して、花火大会、盆踊り、運動会等の地域行事に授業やゼミ、学生ボランティアを通じて参加をしております。2023年8月17日(木)の生実町花火大会では、本学の学生消防隊が警護活動にあたりました。	
			043-265-7340	平成30年～継続中		
千葉大学	1	情報戦略機構	総務部情報企画課	千葉県総務部デジタル改 革推進局デジタル戦略 課、千葉県下の大学(予 定)	県内におけるデータ利活用の機運醸成や利活用事例の創出、ならびに千葉大学が進めるデータサイエンス人材の育成に資することを目的にした「アイデアソン」。県のオープンデータ等を活用して、課題の可視化・検証や解決策の検討等を行う。令和5年度は千葉大学の学生を対象にしていたが、令和6年度からは県下の他大学とも連携し、規模を拡大する予定。	
			043-290-2093	令和5年～継続中		
	2	企画部渉外企画課	いなげポッチャカッ プ	企画総務部渉外企画課	稲毛区役所、敬愛大学、 千葉経済大学	地域住民を対象とし、区役所を会場としたポッチャの大会を年1回、稲毛区役所が主催し、区内3大学が共催として開催している。学生はボランティアスタッフとして会場設営、来場者案内、審判などを務めつつ、選手としても出場し、地域の幅広い年代の方と競技を介した交流も行っている。
043-290-2018				令和元年～継続中		
3	学術研究・イノ ベーション推進機 構	GTB (Greater Tokyo Biocommunity)	学術研究・イノベー ション推進機構プロ ジェクト推進部、知 財・技術移転部	千葉県等(地方自治体、 大学・研究所、バイオ関 係団体、産業支援機関、 金融・投資機関の計42団 体)	GTBは、バイオ産業のエコシステムを強化し、国の「バイオ戦略2020」に掲げられた「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」する目標を達成するために活動するグローバルバイオコミュニティ拠点形成を推進する組織であり、東京圏を中心としたバイオ産業に関連する地方自治体、大学・研究所、バイオ関係団体、産業支援機関、金融・投資機関の計42団体が上記の趣旨に賛同。本学は、千葉エリア、柏の葉エリアに参画し、この協議会のメンバーとして、千葉県、かずさDNA研究所等と連携中。	
			043-290-3565		令和4年2月～継続中	

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	4	学術研究・イノベーション推進機構	人生100年時代・課題解決コンソーシアム	学術研究・イノベーション推進機構 プロジェクト推進部	(株)千葉銀行、イオン(株)、(株)JTB、総合警備保障(株)、損害保険ジャパン(株)、(株)千葉薬品	千葉大学と千葉銀行、その他千葉県内に拠点のある5社と協働して「人生100年時代」に当てはまる課題の発見・解決を意図して企画された。
				043-290-3992	令和2年12月～継続中	
	5	学術研究・イノベーション推進機構	千葉市C-CAP	学術研究・イノベーション推進機構 スタートアップ・ラボ	千葉市、デロイトトーマツ、市内金融機関	千葉市アクセラレーションプログラム(C-CAP: Chiba City Acceleration Program)。「事業の拡大や成長」を目指す市内のスタートアップ企業に対して、5か月間の個別メンタリングによるコンサルティングや、業界知見を持つ支援者による課題解決講座などを短期間に集中して提供するプログラム。令和5年度は、4期目の開催。今年度は新たに「上場チャレンジコース」が追加された。またプログラム内で全4回の課題解決講座が設けられ、第3回を千葉大学IMOを会場に開催した。 https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/c-cap.html#innovation_kouryukai
				043-290-3992	令和3年10月～継続中	
	6	学術研究・イノベーション推進機構	MIRAI-DXプロジェクト	研究推進部研究推進課 総括係	研究大学コンソーシアム	研究大学コンソーシアムの活動として実施されている、URAIによる研究支援活動をDX化し、「分野や機関の枠を超えた共同研究」の立案から実施、フォローアップに関わるURAの業務を支援するためのDXプラットフォーム構築、MIRAIプロジェクトに協力している。
				043-290-2156	令和元年～継続中	
	7	学術研究・イノベーション推進機構	千葉市ビッグデータ共同研究	学術研究・イノベーション推進機構	千葉市政策企画課	平成22年に情報の共有促進や意思決定の迅速化のため締結した包括協定に基づき、統計・情報分野での共同研究に関する協定を締結。 下記4つの研究グループにおいて、「医療・介護・健診・救急」等のデータを活用し、「健康増進・医療費適正化・予防医療・救急活動」に関する資源の効率的活用といったテーマを設定、市民サービスの向上に向けた研究を実施 1) 大学院社会科学研究院 川久保友超 准教授グループ 2) 大学院社会科学研究院 長根裕美 教授グループ 3) 大学院医学研究院 川上英良 教授グループ (※R5年現在、研究中) 4) 予防医学センター 近藤克則 教授グループ
				043-290-3048	令和3年～継続中	
	8	学術研究・イノベーション推進機構	千葉県異業種交流融合化協議会への講師派遣	学術研究・イノベーション推進機構 知財・技術移転部	千葉県中小企業団体中央会・千葉県異業種交流融合化協議会	千葉大学と地域産業界との連携の更なる推進を目指して、千葉県中小企業団体中央会と連携する千葉県異業種交流融合化協議会の勉強会にて、千葉大学との知財・産学連携の可能性について講演をし、意見交換を行った。
				043-290-3831	令和6年1月～継続中	
	9	学術研究・イノベーション推進機構	千葉中小企業懇話会等への講師派遣	学術研究・イノベーション推進機構 知財・技術移転部	日本政策金融公庫千葉支店・千葉中小企業懇話会	千葉大学と地域産業界との連携の更なる推進を目指して、日本政策金融公庫と連携する千葉中小企業懇話会の秋季講演会において、千葉大学との知財・産学連携の可能性について講演をし、意見交換を行った。と
043-290-3831				令和5年11月～継続中		
10	学術研究・イノベーション推進機構	スタートアップ・グローバル展開セミナー	学術研究・イノベーション推進機構	日本貿易振興機構(ジェトロ)、千葉市	グローバルに活躍するスタートアップの育成や、ユニコーン級企業の創出に向け、企業のグローバル展開や海外のエコシステム事例を紹介する「スタートアップ・グローバル展開セミナー」 主催 日本貿易振興機構(ジェトロ) 共催 千葉大学、千葉市 https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/stratup_r5_global-seminar.html	
			043-290-3992	令和5年12月4日、1月11日		
11	学術研究・イノベーション推進機構	高校生起業体験プログラム『TOKKA』	学術研究・イノベーション推進機構 スタートアップ・ラボ	文部科学省、千葉県教育委員会、県内高校	起業体験プログラム『TOKKA(トッカ)』とは、千葉県に在学・在住の高校生が、ビジネスの立ち上げを経験できる、体験型の教育プログラム。 本プログラムは、JST事業「EDGE-PRIME Initiative」の一環で実施。 後援：文部科学省、千葉県教育委員会 https://startup-lab.chiba-u.jp/tokka/	
			043-290-3992	令和5年7月3日～		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	12	学術研究・イノベーション推進機構	令和5年度 ちば起業家育成プログラムU25編	学術研究・イノベーション推進機構 スタートアップ・ラボ	千葉県、いすみ市、タクトピア(株)	若年層のアントレプレナーシップ(起業家精神)向上を図るため実施される県内高校生～大学生を対象にした起業体験プログラム 参加者はいすみ市を舞台に地域課題を発見し提案する。最終プレゼン報告会には千葉大学から相楽特任研究員が審査員として登壇した。 https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/sougyou/kigyuu-ikusei.html https://sites.google.com/taktopia.com/entrechiba-develop
				043-290-3992	令和5年7月3日～	
	13	学術研究・イノベーション推進機構	ちば起業体験プログラム小中学生編	学術研究・イノベーション推進機構 スタートアップ・ラボ	千葉県、タクトピア(株)、山万(株)、イオンモール(株)	若年層のアントレプレナーシップ(起業家精神)向上を図るため実施される県内小中学生を対象にした起業体験プログラム ユーカリが丘のまちづくりを進める「山万株式会社」と、大型ショッピングモールを運営する「イオンモール株式会社」の2社の協力のもと運営されるプログラム。教育学部特任助教 / スタートアップ・ラボARA 小牧が教材開発で協力した。 https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/sougyou/kigyuu-ikusei.html https://sites.google.com/taktopia.com/entrechiba-develop4kids
				043-290-3992	令和5年7月3日～	
	14	学務部教育企画課	千葉市・千葉大学公開市民講座	学務部教育企画課総務係	千葉市立郷土博物館、千葉市教育委員会	2026年の千葉市開府900年記念に向け、2017(平成29)年度より、千葉大学公開市民講座(全学、学務部教育企画課)を千葉市(千葉市立郷土博物館、千葉市教育委員会)と共同で開催している。本講座は、千葉市の歴史を軸にテーマ設定し、千葉市都市アイデンティティ推進活動の中でも認知度が低い「千葉氏」への理解の底上げに貢献している。7回目の開催となる今年度は、定員である200名程度の受講となった。講演内容は3月末までに千葉市HPにて動画配信され「講演録」も刊行される予定である。
				043-290-2154	平成29年2月～継続中	
	15	学務部教育企画課	スーパーサイエンスハイスクール科学技術人材育成重点校(高大接続校)	学務部教育企画課先進科学・高大連携係	県立船橋高校、県立佐倉高校、県立長生高校、県立柏高校、県立木更津高校	令和元年度に採択されたスーパーサイエンスハイスクール科学技術人材育成重点校(高大接続校)事業において、幹事校の県立船橋高校及び参画校4校とコンソーシアムを結成し、「グローバルなプロジェクトを牽引する次世代型科学技術系リーダーの創出」をテーマに、受講生に対して高校段階から大学段階への継続した教育を実施している。
				043-290-3618	令和元年～継続中	
16	コミュニティ・イノベーションオフィス	大学による地方創生の推進	学務部教育企画課教育企画改革係	千葉県内の自治体、企業	地域課題解決について住民と学生が一緒に考える授業「カレッジリンク・プログラム」を実施している。長柄町、横芝光町、南房総市、成田国際空港(株)などの県内自治体・企業・団体等とそれぞれ受託研究・共同研究を行っている。地域産品開発、国際交流、大学連携型CCRC、アウトドアツーリズムによる地域活性化、デジタル田園都市国家構想支援などの各種研究・調査業務を推進している。	
			043-290-2176	平成27年度～継続中		
17	コミュニティ・イノベーションオフィス	稲毛コレクティブインパクト	コミュニティ・イノベーションオフィス	千葉市、長柄町、認定特定非営利活動法人まちづくりスポット稲毛、日鉄興和不動産(株)、三菱地所レジデンス他	千葉市、民間企業、NPOなどととも、社会課題を協働で解決に導く「コレクティブインパクト」の手法を取り入れ、産学官民の様々な参加者がビジョン・研究データ・課題を共有し、課題解決に導く任意団体「稲毛コレクティブインパクト」を設立。稲毛地域を対象に「文教のまち・稲毛」のイメージ定着をテーマに、まちのリブランディングに取組む。	
			043-290-2927	令和5年度～継続中		
18	学務部学生支援課	ちばシティサイババルキャンプ	学務部学生支援課 課外活動支援係	千葉県キャンプ協会、千葉市少年自然の家	例年、防災週間のある9月頃、広域避難場所となっている大学のグラウンドで、地域の子どもたちを対象に、防災に関する知識・技能とキャンプの技術とを絡めた講習を行っている。ロープワーク、心肺蘇生法、仮設トイレの使い方などを実施し、100名近くの子どもたちと保護者が参加している。(今年度は11月26日実施)	
			043-290-2162	平成27年9月～継続中		
19	学務部学生支援課	パラスポーツ講座	学務部学生支援課 課外活動支援係	千葉市スポーツ振興課、千葉県ボッチャ協会	学生のパラスポーツ及び障害者への関心を高め、共生社会におけるパラスポーツ普及の担い手として在学中及び卒業後もパラスポーツと関わり続ける人材を育成することを目的に、千葉県ボッチャ協会から講師を招き、パラスポーツ講座及びボッチャ大会を開催する。	
			043-290-2162	令和5年6月11日		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	20	学務部留学生課	ホームビジット	学務部留学生課 留学生サポート係	千葉大学附属小・中学校	前期、および、後期に入学するJ-PAC生・日本語予備教育生を対象に、一般家庭を訪問し、日本語を通して異文化理解を深めることを目的としている。ホストファミリーは附属小・中学校の保護者を対象に、留学生受入れの協力を依頼している。 ※コロナ禍により、2020年度後期から2022年度前期まではオンライン、2022年度後期から対面実施を再開。
				043-290-2195	平成6年12月～継続中 (年度中、春・秋2回実施)	
	21	学務部留学生課	千葉市外国人留学生 交流員	学務部留学生課 留学生サポート係	千葉市国際交流協会	例年春ごろ、千葉市国際交流協会より募集依頼を受けている。千葉大学を含めた市内3大学うち、日本語が堪能で、大学より推薦を受けた留学生より任命される。地域における国際交流、および外国人に対する支援事業に協力する。当該交流員には、学業の充実を目的として奨学金(任期1年間につき6万円程度)が支給される。
				043-290-2195	平成23年度～継続中	
	22	学務部留学生課	チーバくんグローバル パートナーズ	学務部留学生課 留学生サポート係	千葉県総合企画部国際課	例年、活動年度の前年度12月または1月に千葉県より募集依頼がある。千葉県内に居住、または通勤・通学している、日本語が堪能な外国人が対象。外国人住民としての視点を県施策に生かすとともに、災害時などに多言語での情報発信や、千葉県のいろいろな魅力アピールなどを、自身のSNSを用いて協力する。任期は1年間。 ※2019年度までは「チーバくん大使」、2020～2022年度「チーバくんパートナー」という名称で、主に千葉県内の観光地などのアピールをSNSで発信する活動を行っていた。2023年度より、「チーバくんグローバルパートナーズ」に名称変更された。
				043-290-2195	平成25年度～継続中	
	23	総合安全衛生 管理機構	健康屋台	総合安全衛生管理機構	UR都市機構、千葉県保 険医協会	UR都市機構高洲第一団地において、高齢者の健康保持増進のため、健康チェック、健康相談、歯科相談、園芸福祉活動などのアクティビティを行い、アウトリーチ活動の効果測定などの研究を行っている。
				043-290-2210	平成27年度～継続中	
24	施設環境部 施設企画課	千葉市地域防犯連絡 会	施設環境部施設企画課	千葉市	「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」に基づき、安全で安心なまちづくりを進めるため、協働して防犯活動に取り組むことを目的として、千葉市に協力し、犯罪行為等発見時の通報や、犯罪被害者等の駆け込みへの対応等を行う。また、年1回、千葉市防犯連絡会に参加し、地域防犯に関する取り組み事例の情報共有等を行っているほか、千葉市からのメールにより刑法犯認知件数等の情報提供を受けている。	
			043-290-2118	平成26年12月～継続中		
25	環境ISO 学生委員会	千葉大学×京葉銀行 ecoプロジェクト～7 色の虹を千葉から未 来へ～	環境ISO事務局	京葉銀行、県内の企業、 NPO、市民、学校等	県内地域の環境やSDGsに関する意識の啓発を目的に、学生たちが様々なアイデアを提案し、京葉銀行との会議で企画を練る。学生は企画の内容を作り、同行は資金援助や調整役を担うという役割分担で進行する。学生にとっては環境教育になるほか、企業の方とやりとりしながら、計画・準備・運営という一連の流れを経験するため実務教育にもなる。銀行にとってはSDGsだけでなく、学生の社会勉強や地方創生に貢献する取り組みとなっている。 企画の中身は、企業を対象に学生が講師を務めるSDGs教室、子ども向けのエコ体験イベント、地元農家を応援する干産干消の推進企画、竹林に対する環境ボランティア活動、Webサイトを使ったエコやSDGsに関する情報の発信、行員のSDGs意識啓発に向けた取り組み支援、企業に対して学生が「エコアクション21」の取得に向けたコンサルティングなど、毎年多岐にわたる企画を実施している。 R5年度は古着市、こどもエコまつりの開催、放置竹林整備、フェアトレード啓発、フードロス削減啓発などを行った。	
			043-290-3572	平成29年7月～継続中		
26	環境ISO 学生委員会	ちーあいふれあいの 庭	環境ISO事務局	地域住民、敬愛大学の学 生	「ちーあいふれあいの庭」は、千葉大学環境ISO学生委員会とボランティアサークルちばくりん敬愛支部の共同企画として、千葉市の公認を受けて設けられた、千葉大学と敬愛大学の間に位置する、新港横戸町線道路の交差点脇の緑地帯に設けられた花壇です。千葉大学環境ISO学生委員会は、敬愛大学の学生と協力して、千葉市が行っている「花いっぱい市民活動」の花苗配付の助成を活用し、近隣住民の方にも参加していただいて、春と秋に花植えイベントを開催しています。	
			043-290-3572	平成25年～継続中		
27	環境ISO 学生委員会	千葉市地球温暖化対 策地域協議会の次世 代分科会	環境ISO事務局	千葉市地球温暖化対策地 域協議会	千葉市地球温暖化対策地域協議会では、市民、事業者、市などの様々な主体がメンバーとなり、地域の特性に応じた地球温暖化対策を推進するため、平成16年度から活動しています。平成28年度には次世代を担う10代、20代の学生が中心となって地球温暖化問題について取り組むため、分科会の1つに「次世代分科会」を新たに設置しました。設置当初より現在までこの分科会は千葉大学環境ISO学生委員会の学生で構成されています。 次世代分科会の取り組みとしては市民向けの環境意識啓発品の製作を行い、エコメッセージや各種イベントで配布等を行っています。これまでにecoトレットペーパー、エコかるた、マスクケースなどを作成しました。R5年度はエネルギー施設の取材などを行い、VTuberを使った啓発動画を作成しています。	
			043-290-3572	平成28年～継続中		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	28	環境ISO 学生委員会	Chiba Winter Fes	環境ISO事務局 043-290-3572	県内企業、NPO、市民、自治体、団体等 平成30年2月～継続中	地域住民や学生、子どもを対象に、楽しみながらエコを啓発するイベントとして、2018年より環境ISO学生委員会が主催している大規模イベント。有名人の講演・ライブ、電気自動車を電源としたecoステージ、サークル等のパフォーマンス、子ども向けエコ体験企画、飲食店出店、地産地消ブース、企業による展示ブース、フリーマーケットなど、企画内容はさまざまある。毎年、複数の企業に協賛金をいただき、10社・団体以上の協力のもと実施している。2018年は1500人以上が来場した。コロナで2年間中止となったが、2022年から再開した。R5年度は2月18日に西千葉キャンパスにて開催する。
	29	国際教養学部	中小企業におけるSDGsの取組をテーマとした演習型授業	西千葉地区事務部人社系総務課 043-290-3607	千葉市内及び千葉県内の民間企業 令和5年度～継続中	千葉市内の中小企業を対象に、SDGsの取組における成果や課題をインタビュー形式でヒアリングし、学生の気付きや課題解決のための提案をおこなう演習型授業「SDGsマネジメント」を開講。令和5年度は千葉市内の2社（飲食業、住宅設備卸売業）と松戸市内の1社（木材卸売業）にインタビューをおこない、中小企業とSDGsや地域との関わりについて考察し、発表した。
	30	法政経学部	千葉ロッテマリーンズ共同研究	大学院社会科学研究院・法政経学部経営会計系コース 043-290-2342	㈱千葉ロッテマリーンズ 平成19年度～継続中	ゼミナール参加の学生が、千葉ロッテマリーンズのマーケティング部チケット・ファンクラブグループの課題を共有し、入手可能な情報やデータの分析に基づいて、スタジアムへの来場客数増加やファンクラブ会員維持に関連する課題発見、マーケティング施策の立案に向けて研究活動に取り組んでいる。またその成果は、連携先である千葉ロッテマリーンズ担当者が参加する発表会で発表し議論を行うことを通じて共有している。
	31	文学部	千葉市動物公園「アカデミア・アニマリウム」×千葉大学オープンセミナー	臨床人文学教育研究企画推進室 043-290-2313	千葉市動物公園 令和4年～継続予定	千葉市動物公園の調査研究、教育普及活動である「アカデミア・アニマリウム」において、令和4年度より文学部の組織的な取り組みとして「千葉大学オープンセミナー」と題し、文学部担当教員による講演（全3回、9/23・10/21・11/19）を行った。講演内容はポスターを作成し、動物科学館「アカデミア・アニマリウム」コーナーに展示している。 https://www.city.chiba.jp/zoo/enchoshitsu/2023chiba_university.html
	32	文学部	「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」	文学部日本・ユーラシア文化コース（日本文学） 043-290-3641	千葉県文化振興財団、NPO法人フォーエヴァー 平成17年～継続中	房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、新たに創作狂言をつくり、年に一度、舞台公演を行っている（千葉県文化振興財団主催事業）。和泉流狂言師小笠原由禰、千葉県文化振興財団、NPO法人フォーエヴァー、千葉大学で連携をはかり、運営委員会を組織して運営にあっている。千葉大学では、普遍教育の授業「伝統文化をつくる」にて学生とともに制作しており、一般参加の県民とともに舞台を担う。これまでに上演してきた公演は、多くのメディアに取りあげられ報道されている。
	33	教育学部	千葉市未来の科学者育成プログラム・ジュニア講座	理科教育 043-290-2522	千葉市教育委員会 平成27年7月～継続中	理科に興味・関心のある小学5～6年生を対象に、その能力を伸ばすため、普段の生活では体験できない高度な内容を楽しみながら学習することで「未来の科学者」を目指す意欲を高めるためのプログラムを実施している。 https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/ikupurojr.html
	34	教育学部	西千葉子ども起業塾	教育学部授業実践開発研究室 043-290-2564	ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム・Seedlings of Chiba（千葉市、JFEスチール等） 平成22年～継続中	小中学生を対象とした、地域の企業との間でBtoBビジネスを行うアントレプレナーシップ教育プログラム。教育学部の授業「キャリア教育演習」を履修の学生がプログラムの運営を担っている。
	35	教育学部	教員不足解消に向けた緊急対策事業	教育学部（人社系総務課総務第三係） 043-290-2505	千葉県教育委員会 令和5年度	教員不足解消を目的とし、高校生対象のセミナーやインターンシップの開催、大学生のための千葉県の教育を知るためのバスツアーの実施、教員志望/非志望の要因に関する調査研究といった事業を実施している。

大学名	No.	学部名	事業名	連携先		連携内容等
				担当及び連絡先	連携期間	
千葉大学 (続き)	36	千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC)	平成28年度地域科学技術立証拠点整備事業	千葉ヨウ素資源イノベーションセンター	千葉県内の企業等	平成30年2月より、CIRICに入居する千葉県内連携企業4社と千葉大学との5者合同で「包括連携共同研究推進等に関する協定」を締結し、オープンイノベーション推進による社会的インパクトの高い高機能ヨウ素製品の社会実装を目指している。また、CIRICセミナー等の開催により、ヨウ素科学の研究と教育に努めている。
				043-290-2883	平成28年度～継続中	
	37	千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC)	CIRIC分析機器講習会	千葉ヨウ素資源イノベーションセンター	千葉県内の企業等	CIRICには、核磁気共鳴装置 (NMR)、X線光電子分光装置 (XPS)、ICP発光分光分析装置、液体クロマトグラフィー質量分析装置 (LC-MS/MS)、顕微レーザーラマン分光装置など、最先端分析装置が装備されており、これらの分析装置はすべて共同利用装置として、広く学内外の方に利用いただいている。共用装置の利用促進、および分析技術の継承を目的として、本学の学生・教職員、企業・他大学の技術者・研究者を対象に「CIRIC分析機器講習会」を開催している。
				043-290-2883	令和2年度～継続中	
	38	千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC)	CIRICサイエンスセミナー	千葉ヨウ素資源イノベーションセンター	千葉県内の企業等	CIRICでは小中学生を対象とした「CIRICサイエンスセミナー」を夏休みに開催し、化学を身近に感じてもらう企画を行っている。令和5年度は、「ヨウ素のことを知ろう」(ヨウ素学会と共催)、「電子顕微鏡でミクロな世界を見てみよう」(日本電子株式会社と共催)の2つのセミナーを同日開催した。県内外の小中学生24人が参加し、ヨウ素を使った実験や、電子顕微鏡の操作体験を行った。
				043-290-2883	令和3年度～継続中	
	39	大学院医学研究院	千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議	医学研究院分子腫瘍学	千葉県商工労働部産業振興課	健康・医療・環境・食糧等、人々の生活に関係の深い課題の解決に大きな貢献が期待され、産業としての高い将来性が見込まれるバイオ・ライフサイエンス分野の研究開発、産業振興を図るために全県的に組織された産学官連携である。
				043-226-2039	平成30年～継続中	
40	大学院医学研究院	千葉県医師会への参画	泌尿器科	千葉県医師会	千葉大学医師会会長として千葉県医師会の活動に参画している。	
			043-226-2134	2018～継続中		
41	大学院医学研究院	前立腺がん術後地域連携バス	泌尿器科	千葉県内の診療所	前立腺癌診療をより効率的に行うため、当院でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を施行した患者さんのうち同意を得られた患者さんについて、自宅近傍の泌尿器科診療所と当院で、前立腺癌診療について相互に連携し、両者での診療を行っている。	
			043-226-2134	令和5年～継続中		
42	大学院医学研究院	医師-医師間オンラインコンサルテーションシステム	消化器内科学	千葉県立佐原病院、東千葉メディカルセンター、千葉市立青葉病院、君津中央病院、キッコーマン病院、など	地域医療機関で診療に難渋する症例を、千葉大学医学部附属病院に所属する専門医がオンラインでコンサルテーションを行うシステムが構築し、運用している。高齢化や介護家族の欠乏などにより、遠方の専門医療機関への通院が困難な患者さんが増えている中、このオンラインコンサルテーションシステムを利用することで、可能な限り地元の医療機関での診療を継続できるようになることを目指している。	
			043-222-7171	令和4年～継続中		
43	大学院医学研究院	第2回 地域のための指導医講習会 in 千葉	地域医療教育学	NPO法人 千葉医師研修支援ネットワーク	医師臨床研修(卒後臨床研修)の地域医療研修など地域での臨床教育に携わっているもしくは携わる予定のある医師を対象に、臨床現場での指導技能向上のためのワークショップを開催した。特に制約の大きい地域医療の臨床の現場で、いかに効率よく必要な指導をし、研修医が自ら考え学ぶ姿勢を身につけるかを、アクティブラーニング形式で相互に交流しつつ学ぶ機会を提供している。	
			043-311-3614	令和4年度～継続中		

大学名	No.	学部名	事業名	連携先		連携内容等
				担当及び連絡先	連携期間	
千葉大学 (続き)	44	大学院医学研究院	千葉大学医学部見学	地域医療教育学	千葉大学教育学部附属中学校	千葉大学医学部の紹介、医師の道のり（医学部での学習）について講演を行った。また、医療現場についての動画を視聴し、10名ずつに分かれてグループワーク（ディスカッション・発表）の機会を提供した。
				043-311-3614	令和5年度	
	45	大学院医学研究院	千葉大学医学部見学	医学教育学	渋谷教育学園幕張高等学校	千葉大学医学部の紹介、医師の道のり（医学部での学習）について講演を行った。また、希望する研究室のラボツアーに参加した。
				043-311-3614	令和3年度～継続中	
	46	大学院医学研究院	千葉大学医学部見学	医学教育学	千葉県立千葉高等学校	千葉大学医学部の紹介、医師の道のり（医学部での学習）について講演を行った。また、希望する研究室のラボツアーに参加した。
				043-311-3614	令和4年度～継続中	
	47	予防医学センター	エコチル調査	予防医学センター(エコチル調査千葉ユニットセンター)	千葉県内14市町村（千葉市緑区含む）	県内自治体との連携協定に基づき、エコチル調査（出生コーホート調査）を実施。延べ約10,000人の母子を対象として調査継続している。
				043-290-3920	平成23年度～継続中	
48	予防医学センター	日本老年学的評価研究	予防医学センター(JAGES千葉事務局)	千葉県内外の自治体	介護予防のための調査研究「日本老年学的評価研究」を行っており、全国の自治体（75市町村）と連携協定を締結し、約22.8万人の高齢者を対象として調査を実施している。 （千葉県内連携自治体：柏市、松戸市、市川市、四街道市、市原市、長柄町及び睦沢町）	
			04-7137-8207	平成26年度～継続中		
49	予防医学センター	健康まちづくり部門	予防医学センター(健康まちづくり部門)	四街道市	四街道市の健康まちづくりに向け、四街道市と研究協定を締結した。自治体のデータを活用して地域課題の見える化に取り組んだ。岩淵薬品や高野台地区自治会、民生委員、図書館などと連携して、健康まちづくりに向けた施策を検討した。	
			043-290-3177	令和5年～継続中		
50	予防医学センター	船橋メディカルタウン構想	予防医学センター(健康都市・空間デザインラボ)	船橋市企画財政部政策企画課	船橋メディカルタウン構想を策定し、その実現に向け、構想を実現する船橋市海老川上流地区土地区画整理事業において、土地区画整理組合の業務予定者である株式会社フジタと船橋市に対して、メディカルタウン構想の実現に向けた勉強会を実施した。	
			043-290-3877	平成29年度～継続中		
51	予防医学センター	健康まちづくり部会	予防医学センター(健康都市・空間デザインラボ)	UDCK（柏の葉アーバンデザインセンター）	自然と体を動かしたくなるまちづくりに向け、歩行や身体活動を促すまちづくりの基本的な考え方を明確化し関係主体で共有するため、柏の葉地域にUDCK、柏市、三井不動産株式会社などとともに「健康まちづくり部会」を設置し、「柏の葉ウォークデザインガイドライン」を作成した。このデザインガイドラインの実践として、歩行者専用道路上に歩きたくするサインを設置し、設置した道路の環境調査を行った。	
			043-290-3877	平成28年度～継続中		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	52	大学院看護学研究院	認知症に関わる専門職の多職種協働研修	専門職連携教育研究センター (IPERC)	千葉県高齢者福祉課	千葉県内で勤務する認知症の人と家族の支援に携わる医療・介護・福祉等の専門職同士が、認知症に関わる現状や知識・情報を共有するとともに、お互いの役割や活動内容等を理解し、連携をとり協働しやすい関係づくりのためのコツやスキルを学ぶ。認知症の人の理解を深める講義とワークを2日(同じ内容)開催する。
				043-226-2614 inohana-ipe@office.chiba-u.jp	令和5年12月23日(土) 令和6年1月28日(日)	
	53	大学院看護学研究院	千葉大学医学部附属病院の入職者研修	専門職連携教育研究センター (IPERC)	千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター	①新人職員研修の一部を担当した。IPWIに必要な知識と技能に関する演習を行った。 ②特定行為研修のチーム医療演習を担当した。 ③中途採用者研修の一部を担当した。IPWIに必要な知識と技能に関する演習を行った。
				043-226-2614 inohana-ipe@office.chiba-u.jp	①令和5年4月4日 ②令和5年8月2日 ③令和5年10月25日	
	54	大学院看護学研究院	千葉県看護協会第22回認定看護管理者教育課程セカンドレベル	専門職連携教育研究センター (IPERC)	千葉県看護協会	千葉県看護協会主催の同研修事業において下記内容の講師としてセンター長およびセンター教員が担当した。 ①文献検索 ②看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を修得することをねらいとする。 第22回認定看護管理者教育課程セカンドレベル 研修講師 組織管理論Ⅱ 講義内容：看護管理における倫理 「看護管理における倫理的課題」「看護管理における倫理的医師決定」
				043-226-2614 inohana-ipe@office.chiba-u.jp	①令和5年9月11日 ②令和5年11月13日	
	55	高度実践看護学	令和5年度生涯教育計画に基づく研修会	高度実践看護学	千葉県看護協会	特定行為研修制度について学び、研修修了者の臨床実践を知ること狙いとす。 看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践 対象者：保健師・助産師・看護師 定員：100名
				043-226-2768	令和6年1月29日	
56	大学院看護学研究院先端実践看護学	令和5年度生涯教育計画に基づく研修会	大学院看護学研究院先端実践看護学	千葉県看護協会	高齢者の生活適応を支え、高齢者の機能低下を予防するための日々の看護の関わりや高齢者虐待予防について学び、活用できることをねらいとする。 研修会名：高齢者を支える看護と高齢者虐待予防研修 対象：保健師・助産師・看護師 定員：100名	
			043-226-2768	令和5年7月14日		
57	大学院看護学研究院先端実践看護学	東総地区不眠症診療WEBセミナー	大学院看護学研究院先端実践看護学	地域連携首都圏本部 千葉南東統括部	東総地区不眠症診療WEBセミナー 開催場所：旭中央病院 しおさいホール	
			043-226-2768	令和5年11月29日		
58	看護学研究院地域創成看護学講座	保健活動業務研究サポート	看護学研究院地域創成看護学講座	千葉県立保健医療大学他13校、千葉県 公衆衛生看護学教育連絡会議構成校、千葉県健康福祉部健康づくり支援課	県内の保健所また自治体を対象に、県内業務研究サポート大学リストに登録している教員が保健師の業務研究をサポートする。一般的には、①業務研究サポート方法についての意向確認、②研究課題・目的の焦点化、③調査方法等の検討、④結果のまとめ方や目的にあった考察への助言、⑤抄録内容やプレゼンテーションへの助言をする。業務研究担当者一人に負担がかからないよう、チームや組織での取り組みをサポートする。 千葉大学担当教員：石丸美奈、杉田由加里、飯野理恵、坂井文乃、佐藤太一、岩瀬靖子	
			043-226-2430	現在の連携形態としては、平成30年度～継続中(1971(昭和46)年より連携を継続中)		
59	看護学研究院地域創成看護学講座	精神・地域看護コア実習における地域連携実習	看護学研究院地域創成看護学講座	千葉市社会福祉協議会 東千葉地区部会、千葉市あんしんケアセンター弁天、千葉市地域包括ケア推進課	『東千葉地区(東千葉1～3丁目)』を実習フィールドとし、東千葉地区の住民グループ「東千葉 和・輪・環の会」により主体的に行われる活動(以下、住民活動)」に参加する住民と、その住民活動を支援する地域包括支援センターの協力を得て、学生が協働の場をつくり、学生を含む協働のパートナー同士で今後の地域づくりについて話し合い、高齢や障害になっても安心して心豊かに生活できる地域づくりを目指した活動を実践する。 千葉大学担当教員：石丸美奈、坂井文乃、佐藤太一、岩瀬靖子	
			043-226-2436	令和5年度より開始		

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	60	看護学研究院地域創成看護学講座	東千葉住民のつどい	看護学研究院地域創成看護学講座 043-226-2436	東千葉地域の和・輪・環の会(共催) 平成27年度より継続中	千葉市中央区東千葉地区では、住民や支援関係者が集い、対話や異世代交流を通して思いを共有し、実践しながら住民相互の絆を深め、支え合える地域を目指す活動に長年取り組まれている。本活動に、大学も平成27年度より協働で参加している。 千葉大学担当教員：石丸美奈(平成27年度～)、坂井文乃、佐藤太一、岩瀬靖子(令和5年度～)
	61	看護学研究院	乳がん術後患者サポートグループプログラム「ほっとカフェ」	看護学研究院高度実践看護学講座 043-226-2422	千葉大学病院、千葉県がんセンター、千葉市立海浜病院、東京歯科大学市川総合病院等 平成16年～継続中	乳がん術後患者を対象とし、サポートグループ参加者同士が情報を共有するとともに、互いの体験や気持ちを分かち合うことによって、参加者一人ひとりがよりよく生きる力を得ることを目指している。計4セッションで1回とし、原則的に年1回開催している。情報提供や話し合いのファシリテーションを行うスタッフは看護学研究院の教員が中心となり、近隣の病院に勤務する看護師である。
	62	看護学研究院	エンドオブライフケア研究会	看護学研究院高度実践看護学講座 043-226-2424	千葉大学医学部附属病院、千葉県がんセンター、千葉市立海浜病院、千葉市立青葉病院、千葉メディカルセンター 昭和62年～継続中	千葉大学医学部附属病院、千葉県がんセンター、千葉メディカルセンター、千葉市立病院の有志が集まり、人生の終末段階にある患者とその家族を支える医療について、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士等の多職種で検討することを目的とする。研究会の活動は、例年5月に特別講演を、7月、10月、12月、2月に各世話人施設にて定例研究会を開催している。コロナ禍においては、オンラインで特別講演、情報交換会を開催し、研究会活動は継続している。
	63	看護学研究院	房総心不全ネットワーク	看護学研究院高度実践看護学講座 043-226-2424	千葉大学大学院医学研究院、千葉大学医学部附属病院、千葉県循環器病センター、聖隷佐倉市民病院、千葉西総合病院、東邦大学医療センター佐倉病院、東京ベイ・浦安市川医療センター 令和5年～継続中	千葉大学大学院医学研究院、千葉大学医学部附属病院、千葉県循環器病センター、聖隷佐倉市民病院、千葉西総合病院、東邦大学医療センター佐倉病院、東京ベイ・浦安市川医療センターに所属する心不全医療に携わる医療専門職(医師、看護師、理学療法士、薬剤師)が集まり、心不全に関する多職種連携、地域連携を推進していくことを目的とする。ネットワークの活動は、年2回の定例会に加え、関連団体と共催での特別講演を開催している。
	64	看護学研究院	千葉県感染症対策審議会エイズ・性感染症対策部会	千葉県健康福祉部疾病対策課感染症予防班 043-223-2665	千葉県 令和4年～継続中	エイズおよび性感染症に関する専門的事項について調査及び審議を行う。
	65	真菌医学研究センター	麻疹・風疹対策	真菌医学研究センター 043-226-2799	千葉市等 平成31年4月～継続中	千葉市・大学連携事業として、麻疹・風疹対策を実施している。本事業の概要と進捗状況について、千葉市ホームページ上に公開した。本件は、当センターの共同利用・共同研究拠点の課題として捉え、継続して研究に取り組んでいる。その成果については国際的な学術誌に掲載された(Human Vaccine Immunotherapeutics)。また、千葉市作成のポスターにおいて本研究事業の概要が紹介され、医療機関等に掲示されている。 https://www.facebook.com/city.chiba.jp/posts/3410923708927789/ 共同研究の成果は、市民向けパンフレットに掲載され、母子健康手帳交付時、乳幼児健診時、公共施設、ショッピングセンター等で配布されている。また、テレビ、ラジオ、SNS等により情報発信している。
	66	附属図書館	千葉県立図書館と千葉大学附属図書館との相互協力	附属図書館学術コンテンツ課学術コンテンツグループ 043-290-2260	千葉県立図書館 平成22年7月～継続中	県民及び本学学生等のリクエストに応じて、千葉県立図書館(3館)と千葉大学附属図書館(3館)の蔵書を、協力車を使って定期的に相互に搬送し、無料で提供している。
	67	附属図書館	アジア経済研究所図書館と千葉大学附属図書館との相互利用	附属図書館学術コンテンツ課学術コンテンツグループ 043-290-2260	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館 平成26年10月～継続中	アジア経済研究所図書館と千葉大学附属図書館は図書館間相互利用協定を締結し、それぞれに所属する職員、学生等にお互いの図書館で所蔵する資料の館外個人貸出などのサービスを提供している。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	68	附属図書館	松戸市戸定歴史館企画展への貴重資料出陳	附属図書館学術コンテンツ課松戸分館係 047-308-8716	松戸市 令和5年6月～9月	松戸市戸定歴史館に協力し、同館夏季企画展「殿様たちの自由時間：植物をめぐるモノ語り」(7/8～9/3)に松戸分館が所蔵する貴重資料9点を出陳した。
	69	医学部附属病院	千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク研修	医学部附属病院 感染制御部・感染症内科 043-222-7171	千葉県 平成8年度～継続中	千葉県院内感染対策地域支援ネットワークは、県内の医療機関における院内感染対策を支援する参加者同士のネットワークである。千葉県(医療整備課)から千葉大学医学部附属病院へ委託され、参加する病院等の医師、保健所長、歯科医師、薬剤師、看護師、検査技師等で構成する協議会を設置して、実地支援や相談、研修会、情報提供等の活動を行っている。また、年2回の研修会を行っている。
	70	医学部附属病院	千葉県エイズ治療中核拠点病院事業	医学部附属病院 感染制御部・感染症内科 043-222-7171	千葉県 平成19年度～継続中	県内のエイズ治療拠点病院等の医療関係者に対する研修会等の実施により、エイズ診療等に関する情報提供を行い、人材を育成するとともに、エイズ治療拠点病院との連携を確保することにより、エイズ患者等が安心して医療提携を受けることができる総合的なエイズ医療体制の確保と診療の質の向上を図ることを目的として、エイズに関する講演・研修会の開催、エイズ治療拠点病院等連絡協議会の開催する。
	71	医学部附属病院	企業PR会	医学部附属病院メドテック・リンクセンター 043-226-2759	千葉県産業振興センター(東葛テクノプラザ) 令和4年5月～継続中	千葉県のもの作り企業にそれぞれの得意技術に関するプレゼンを行って貰い、関心を持った医療スタッフと医療への応用に関してディスカッションを行う機会を定期的に(1回/月)提供している。
	72	医学部附属病院	企業エンジニアのための医療現場見学会	医学部附属病院メドテック・リンクセンター 043-226-2759	千葉県産業振興センター(東葛テクノプラザ) 令和4年9月～継続中	企業PR会や医療スタッフの要望に応じて、特定のもの作り技術を医療現場へ導入するためのきっかけ作りを行う医療現場見学会を不定期に開催している。
	73	医学部附属病院	旭市・千葉大学医学部附属病院・ノボノルディスクファーマ社の包括連携協定に基づく2型糖尿病対策のための共同研究事業(CCDプロジェクト)	次世代医療構想センター 043-226-2762	千葉県旭市、ノボ・ノルディスクファーマ株式会社 令和3年6月～継続中	Change the City for Diabetes(CCD)プロジェクトとして令和3年度から5か年の計画で実施する。旭市市民を対象とし、糖尿病発症予防、重症化予防のため健康観を高めることを目的として動機付けとなるイベントを開催している。本年度は血糖値の上昇を抑えるようなメニューの参考となるお弁当販売、咀嚼の重要性について啓発するイベントを行った。旭市における2型糖尿病患者の発症予防と重症化予防のための介入とその効果検証のための共同研究を旭市・ノボノルディスクファーマ社ともに実施している。
	74	医学部附属病院	令和5年度千葉県在宅医療スタートアップ支援事業業務委託	次世代医療構想センター 043-226-2762	千葉県 令和5年6月1日～令和6年3月31日	本事業は千葉県の受託事業で、今後ニーズが増加する千葉県内在宅医療提供体制を整備するための事業である。本年度は座学研修のみを受託した。在宅医療を実施する医療機関の増加や更なる強化を図るために、診療所や病院の医師や医療関係者に対し、在宅医療を実施するための動機付けや必要な知識、在宅療養支援診療所の経営等に関する座学形式をオンライン研修とハイブリッド方式の研修を行った。
	75	医学部附属病院	若者のこころの健康セミナー(市民公開講座)	医学部附属病院精神神経科・こどものこころ診療部 043-222-7171	銚子市・住友ファーマ 令和6年2月18日	銚子市・住友ファーマとの連携にて、「若者のこころの健康セミナー(市民公開講座)」を銚子プラザホテルで実施予定。(2024/2/18)
	76	医学部附属病院	相談・保健指導従事者研修	医学部附属病院アレルギーセンター 043-222-7171	千葉県疾病対策課 令和元年度～継続中	アレルギー疾患医療拠点病院としての拠点病院事業として、医療従事者の人材育成等の目的で、相談・保健指導従事者対象研修を実施している。一昨年度は、県内4か所で開催したが昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB研修会として実施している。今年度はオンデマンド研修として実施した。実施に当たっては、千葉県疾病対策課と協働して、県内地域の相談・保健指導者への周知を行っている。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉大学 (続き)	77	医学部附属病院	施設等職員向け研修	医学部附属病院アレルギーセンター 043-222-7171	千葉県 令和元年度～継続中	拠点病院委託事業として、学校、保育園、幼稚園等においてアレルギー疾患体制整備に係る者(施設管理者、養護教諭、看護師等)を対象とした研修会を実施している。職員が食物アレルギー等について正しい知識を習得し、平時からアレルギー疾患対応や緊急時に備えた体制の確立を図ることを目的としている。一昨年度は、県内4か所で実施したが昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB研修会として実施している。今年度はオンデマンド研修として実施した。実施に当たっては、千葉県疾病対策課と協働して、内容の検討や学校や幼稚園保育園等の施設職員への周知を行っている。
	78	医学部附属病院	市民公開講座	医学部附属病院アレルギーセンター 043-222-7171	千葉県医師会 日本アレルギー協会千葉支部 平成30年度～継続中	アレルギー疾患の重症化予防には平時からの患者さん自身による自己管理が必要である。アレルギーセンターではアレルギー疾患を有する者やその家族、地域住民に対するアレルギー疾患に関する適切な情報提供を行うために、市民公開講座を開催している。2020年度より、新型コロナウイルス感染症流行のため、WEB研修会を開催している。昨年度より、診療科の医師に加えて県内のコメディカルの方からの災害対応に関する講演も行った。今年度も当院の診療科医師とともに当院のコメディカルとで市民向けの最新のアレルギー医療に関する情報についての県民公開講座を実施予定である。周知については、千葉県疾病対策課と協働して地域保健センター等での周知を行っている。
	79	医学部附属病院	プライマリー診療に生かす医師向け研修	医学部附属病院アレルギーセンター 043-222-7171	千葉県医師会 平成30年度～継続中	アレルギー疾患に罹患する患者さんが居住居にかかわらず、診療所や一般病院における身近なかかりつけ医のもとで診療・管理ガイドラインに基づく適切な医療が受けられるように、アレルギーセンターの5つの診療科にわたる内容を含めた研修会を実施している。2020年度より、新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB研修会として開催している。今年度も様々な地域の先生方にご参加いただけるようWEB研修会を実施予定である。周知にあたり千葉県医師会と連携して進めている。
	80	医学部附属病院	肝がん撲滅運動・市民公開講座	千葉県肝疾患相談センター 043-226-2717	千葉県、一般社団法人日本肝臓学会 12ヵ月に1回	一般社団法人日本肝臓学会が主催で、肝がんの死亡率を低下させるため、一般市民に対し、肝臓病に関する最新知識、生活習慣などについての情報発信のため、医療講演会や公開講座・医療相談会を実施している。市民公開講座と同時開催。
	81	医学部附属病院	家族支援講座・肝臓病教室	千葉県肝疾患相談センター 024-226-2717	千葉県 12ヶ月に1回	千葉県で生活されている肝疾患の患者様とご家族の意識と知識の向上、ならびに肝臓疾患を抱えておられる患者様同士の情報共有の場を提供することを目的として実施している。肝臓病教室と同時開催。
	82	医学部附属病院	C型肝炎ウイルス撲滅啓発事業	消化器内科・千葉県肝疾患相談センター 043-226-2717	千葉県内の自治体、病院・診療所・薬局等 令和3年11月～継続中	従来のウイルス肝炎治療は、肝疾患診療拠点病院や肝臓専門医が勤務する医療機関に患者を集約し、専門病院での治療をおこなう体制をめざしていた。しかしながら、現在治療を受けていない患者の多くは、前述のごとく、物理的、心理的な距離により肝疾患診療拠点病院や肝臓専門医が勤務する医療機関への受診をしない(できない)患者である。 千葉大学医学部附属病院の医師が、非常勤医師として地域基幹病院に出向き、診療体制を構築することで、対象となる患者との物理的な距離を縮めることを試みる。香取地区の潜在的なウイルス性肝炎患者を掘り起こし、受診を促進し治療するマイクロエリミネーションプロジェクトを遂行している。(今年度実施見送り)
	83	医学部附属病院	トレーシングレポート	医学部附属病院薬剤部医薬品情報室 043-226-2477	県内の保険薬局 平成30年1月～継続中	当院からの処方を受けた保険薬局で、緊急に連絡するまでではないが医師に知ってもらいたい患者情報・処方の提案があった際にトレーシングレポート(服薬情報提供書)として当院薬剤部医薬品情報室にて連絡(FAX)を行う。受け取った担当部署から該当の医師へレポートを渡し、レポートの内容に対して医師がコメントを記入する。医師のコメントを薬剤部担当者が確認し、必要に応じて保険薬局へ連絡を行う。以上の連携から、患者情報の共有、さらに患者に適した薬物療法が行われるようになった。
	84	医学部附属病院	(がん診療連携)特定薬剤管理指導加算用トレーシングレポート	医学部附属病院薬剤部医薬品情報室 043-226-2477	県内の保険薬局 令和2年7月～継続中	当院でがん化学療法を受けた患者さんで、当院から抗悪性腫瘍剤の副作用の発現を記載した治療計画等の文書を渡し、連携充実加算を算定した者については、保険薬局で患者のレジメンを把握したうえで必要な服薬指導を実施している。その際に、次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を当院に情報提供する取り組みを令和2年7月より開始した。 その報告は特定薬剤管理指導加算用トレーシングレポートとして当院薬剤部医薬品情報室にて連絡(FAX)を行うこととしている。レポートは受け取った担当部署から、通院治療室薬剤師経由で該当の医師へ渡され、患者の副作用発現等の情報の共有が行われるようになり、さらに患者に適した薬物療法がおこなわれるようになった。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等	
					連携期間		
千葉大学 (続き)	85	医学部附属病院	WEB講習会 ”薬薬Table Talk”	医学部附属病院薬剤部 医薬品情報室	薬剤師、主に保険薬局勤務者	043-226-2477 令和3年から開始 (3か月に1度程度)	保険薬局との連携の充実を図るためのWEB講習会を実施している。がん診療連携特定薬剤管理指導加算のため、がんを主とする講習会を実施する義務があることから、当面はがん診療に関する内容を計画しているが、今後は広い分野を対象とする予定である。当院のWEB講習会では、講義以外に質疑応答時間を十分に確保し、処方意図がわかり調剤時の疑問の解決ができるように努めている。R5年度は近隣の保険薬局薬剤師にも講師として参加いただき、より連携が深められるようなプログラムとした。R3年度から開始し、毎回平均80名以上が参加している。
	86	医学部附属病院	保険薬局薬剤師の研修	医学部附属病院薬剤部	県内の保険薬局		
	87	医学部附属病院	千葉県若年性認知症カフェ「いまここカフェ」	医学部附属病院認知症疾患医療センター内 千葉県若年性認知症専用相談窓口	千葉県、県内自治体等	043-226-2601 平成31年～継続中	若年発症の認知症の人の集いの場、患者家族の相談・情報収集の場として、各自治体や県内認知症疾患医療センターと協力している。
	88	医学部附属病院	認知症こどもカプロジェクト	医学部附属病院認知症疾患医療センター	千葉市社会福祉協議会ボランティアセンター等	043-226-2736 平成26年度～継続中	「認知症になっても安心して暮らせる千葉市」を目的とした認知症普及啓発活動の一環で、学齢期の子どもを対象とした教育イベントを年1度の頻度で開催している。イベントでは、病態としての認知症講義の後、コミュニケーションや対応方法など実践的な学習を行うことを目的に取り組んでいる。令和5年度は、「食の観点から学ぶ」をテーマに、カレーうどんを粉から手打ち、調理し食事するイベントを8/2・8/10・8/17の計3回行った。
	89	医学部附属病院	医療関係者向け研修会	千葉県がん・生殖医療相談支援センター	千葉県健康づくり支援課、県内医療機関	043-226-2749 令和3年12月～継続中	千葉県がん・生殖医療ネットワーク COFNET (Chiba OncoFertility NETwork) は、千葉県から委託を受け千葉大学病院内に設置された千葉県がん・生殖医療相談支援センターが事務局を担当している。COFNETは千葉県でがん治療を受ける小児・AYA世代のがん患者さん等に、妊孕性温存療法について必要な情報を提供し、適切な医療が受けられるよう、対応可能な医療機関の情報を把握し、情報提供を行う。また、がん等の診断・治療を行う医療機関と、妊孕性温存療法を行う医療機関とのスムーズな連携を支援する。今年度は第17回千葉県地域連携の会分科会において、医療関係者、当院職員向けに「千葉県がん・生殖医療相ネットワーク COFNETについて」をテーマに研修会を実施する。
	90	医学部附属病院	県民公開講座	千葉県がん・生殖医療相談支援センター	千葉県健康づくり支援課、県内医療機関	043-226-2749 令和3年12月～継続中	千葉県でがん治療を受ける小児・AYA世代のがん患者さん等に、妊孕性温存療法について必要な情報を提供し、適切な医療が受けられるよう、対応可能な医療機関の情報を把握し、情報提供を行う。また、がん等の診断・治療を行う医療機関と、妊孕性温存療法を行う医療機関とのスムーズな連携を支援するとともに、県民、医療機関、患者さんへの妊孕性温存療法の普及のための普及啓発活動を行う。今年度の普及啓発活動として、千葉市にて県民公開講座を開催する。よりよいがん治療と妊孕性について理解を深めるために「がんと妊娠」に関連する各専門の講師による講演とパネルディスカッションを行う。
	91	医学部附属病院	RCC連携	泌尿器科	千葉大学泌尿器科関連クリニック	043-226-2134 2021～継続中	腎癌 (RCC) 術後の患者さんに対するフォローアップを目的とし、千葉市・市原市・船橋市・四街道市の関連クリニックと共同で前向き観察研究として地域連携をおこなっている。通院利便性向上により課題であった患者さんの通院自己中断を低減し、再発を早期に発見し近年飛躍的に成績が向上している腎癌再発治療へつなげ生存率の向上をめざす。
	92	医学部附属病院	千葉県立保健医療大学への講師派遣	泌尿器科	県立保健医療大学	043-226-2134 2019～継続中	県立保健医療大学へ講師を派遣し泌尿器科学一般ならびに泌尿器科癌に関する講義を行っている。近年主流になっているロボット支援手術に関する内容も含めている。看護学生の将来の方向性の選択に寄与することをめざしている。

大学名	No.	学部名	事業名	連携先		連携内容等
				担当及び連絡先	連携期間	
千葉経済大学	1	経済学部	稲毛区と千葉経済大学及び千葉経済大学短期大学部間における相互連携協定の締結	地域連携室 043-253-9733	稲毛区役所 令和元年7月～継続	稲毛区と本学（短期大学部を含む）との相互の人的・知的資源の活用により、地域の更なる発展及び人材の育成を図ることを目的として相互連携に関する協定を結びました。学生のボランティア活動推進、学生に対する選挙啓発、パラスポーツの振興、人材育成及び生涯学習振興、区民まつり、大学祭等への相互参画による行事の活性化などに務めています。今後は、地域と連携した防災対策の推進に関わることにも目を向けていく予定です。
	2	経済学部	千葉都市モノレールとの相互連携の締結	地域連携室 043-253-9733	千葉都市モノレール(株) 平成30年9月～継続中	千葉都市モノレール株式会社との相互連携協定に基づき、それぞれの事業の特色や資源を活用しながら情報発信、教育・人材育成等、各方面での連携を図っています。
	3	経済学部	ピーナツクラブ西千葉との連携	地域連携室 043-253-9733	ピーナツクラブ西千葉 平成27年8月～継続中	ゆりの木商店街を中心としたまちづくり団体「ピーナツクラブ西千葉」と協働して、地域通貨による取引を使いながら、ゆりの木通り植栽帯の美化活動（令和2～4年度の稲毛区地域活性化支援事業）を通じたまちづくりや商店街活性化に取り組んでいます。なお、その活動には大学生だけでなく附属高校の生徒も参加しています。
	4	経済学部	ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム	地域連携室 043-253-9733	千葉市雇用推進課、千葉大学、敬愛大学、民間企業等 令和3年～継続中	千葉経済大学、千葉大学、敬愛大学、千葉市、民間企業等13団体が参加する「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム」が令和3年度に設立され、設立時会員として参加しています。「西千葉子ども起業塾」を土台として、アントレプレナーシップ教育に関する連携を図っていきます。
	5	経済学部	いなげポッチャカップ	地域連携室 043-253-9733	稲毛区地域づくり支援課、千葉大学、敬愛大学 令和元年～継続中	「稲毛区と区内3大学の連絡調整会議」における取組みの一つとして、令和元年度にスタートしました。令和5年度は、第5回いなげポッチャカップを令和6年2月18日（日）に開催予定です。
	6	経済学部	大学連携パラスポーツ講座	地域連携室 043-253-9733	千葉市スポーツ振興課 令和4年度～継続中	千葉市の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの一つとして、『パラスポーツの理解が深まり、障害がある人もない人も、スポーツを通してともに交流できるまち』を目指す取組み」に、令和4年度・5年度は、千葉県ポッチャ協会から講師を招き「パラスポーツ講座」として実施、連携を図りました。
	7	経済学部	公開講座「オープンアカデミー」	学務課 043-253-9115	千葉市稲毛区（後援） 公開講座 平成16年10月～継続中	地域に根づいた大学として、さらには市民との交流を深めていくために「オープンアカデミー」を年7回～8回開講しています。歴史、文化、芸術などの教養に関するジャンルの内容について、無料で受講できるようにしています。
	8	経済学部	千葉経済大学・千葉市立郷土博物館共同開催歴史講座	地域経済博物館 043-253-9843	千葉市立郷土博物館 平成21年11月～継続中	千葉経済大学と千葉市立郷土博物館との共催で歴史講座を平成21年から毎年開講しています。日程、講座内容は「ちば市政だより」にて告知され、千葉経済大学及び千葉市立郷土博物館からの講師が担当し、多くの地域市民が受講しています。
	9	総合図書館	図書館講演会	図書館課 043-253-9941	— 平成14年～継続中	総合図書館では一般市民への図書館開放を記念して平成14年より毎年講演会を開催しています。令和5年度前期は、7月11日（火）に洪沢史料館館長、桑原功一氏を講師に招き「洪沢栄一の「今の時代」の越え方」と題して講演会を行いました。令和5年度後期は、12月2日（土）に中央大学職員の梅澤貴典氏を講師に招き、『ネット情報におぼれない学び方』と題して講演会を行いました。前期・後期の講演会ともに、多くの地域住民が聴講しました。
	10	総合図書館	職場体験学習の受入	図書館課 043-253-9941	千葉市立中学校（年度により変動） 平成24年～継続中	総合図書館では、平成24年度から毎年千葉市立中学校の生徒の職場体験学習を受け入れてきました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により受け入れは中止になりましたが、令和3年度より受け入れは再開をしています。令和5年度については、千葉市立都賀中学校の生徒3名を受入しました。
千葉経済大学短期大学部	1	—	稲毛区と千葉経済大学及び千葉経済大学短期大学部間における相互連携協定の締結	地域連携室 043-253-9733	稲毛区役所 令和元年7月～継続	稲毛区との相互の人的・知的資源の活用により、地域の更なる発展及び人材の育成を図ることを目的として相互連携に関する協定を結びました。学生のボランティア活動推進、学生に対する選挙啓発、パラスポーツの振興、人材育成及び生涯学習振興、区民まつり、大学祭等への相互参画による行事の活性化などに務めています。今後は、地域と連携した防災対策の推進に関わることにも目を向けていく予定です。
	2	—	千葉都市モノレール株式会社との相互連携の締結	地域連携室 043-253-9733	千葉都市モノレール(株) 平成30年9月～継続中	千葉都市モノレール株式会社との相互連携協定に基づき、それぞれの事業の特色や資源を活用しながら情報発信、教育・人材育成等、各方面での連携を図っています。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉経済大学短期大学部（続き）	3	—	いなげポッチャカップ	地域連携室 043-253-9733	稲毛区地域づくり支援課、千葉大学、敬愛大学 令和元年～継続中	「稲毛区と区内3大学の連絡調整会議」における取組みの一つとして、令和元年度にスタートしました。令和5年度は、第5回いなげポッチャカップを令和6年2月18日（日）に開催予定です。
	4	こども学科	大学公開講座	学務課 043-255-3451	近隣の小学校・幼稚園など 平成4年9月～継続中	千葉経済大学短期大学部では平成4年以来26年間にわたって、地域のこどもたちの造形的な創造性を育み、豊かな人間性を育成するという教育面での地域貢献を行うとともに、小学校や幼稚園の教師を志すこども学科の学生のこども理解を促進し、こどもとのふれあい方を実践的に学び、教職へのモチベーションを高めることを目的として、もう一つの学校「こども造形教室」を開催しています。この取組みは、平成15年度に文部科学省の特色GP（特色ある大学教育支援プログラム）に採択されました。 http://www.chiba-kc.ac.jp/
	5	—	オープンカレッジかまがや（千葉経済大学短期大学部開放講座）	学務課 043-255-3451	鎌ヶ谷市教育委員会 平成7年4月～継続中	著しい社会変化の中で、現代社会の抱える今日的な課題を中心テーマに、高度で専門的な鎌ヶ谷市民の学習要求に応えるため、大学の持つ人的、物的教育機能を市民に開放し、市民の生涯にわたる学習意欲の向上に努めています。 http://www.chiba-kc.ac.jp
	6	こども学科	近隣保育園との連携	学務課 043-255-3451	なでしこ保育園 平成30年8月～継続中	本学に隣接する「なでしこ保育園」にて、本学こども学科の学生が保育実習の場として活用したり、なでしこ保育園が本学敷地内のひろはら・スクエア（人工芝スペース）を遊びや体育に利用したり、保護者送迎用の駐車スペースとして貸し出すなど、相互の連携を深めています。
千葉県立保健医療大学	1	健康科学部	一般公開講座	事務局企画運営課 043-296-2000	— 令和5年10月8日（日） 令和5年10月22日（日）	開学年（平成21年）から社会貢献事業の一環として、一般県民を対象に毎年開催しています。（令和2年度は、コロナ禍で中止）令和5年度は下記の内容で開催しました。 「よい眠りを誘って健康寿命を延ばそう！（看護学科田口智恵美准教授）」、「脳から考える心と身体の健康（栄養学科加瀬政彦教授）」、「“呼吸”のリハビリ ～からだを動かして健康増進～（リハビリテーション学科理学療法専攻稲垣武講師）」、「健康寿命の延伸はお口の健康から～口腔機能の衰えを予防しましょう～（歯科衛生学科佐々木みづほ准教授）」
	2	健康科学部	パラスポーツ講座	事務局企画運営課 043-296-2000	千葉市スポーツ振興課 —	千葉市が企画募集したパラスポーツ講座の開催を検討しており、令和5年12月8日（金）に体育の授業として実施しました。
	3	健康科学部	ほい大健康プログラム	健康科学部（各学科・専攻） 043-296-2000	UR都市機構 平成29年10月31日～継続中	千葉県立保健医療大学は、平成29年10月にUR都市機構と千葉県民の健康増進を支援する協定を締結しました。協定の実現を図るため実施しているほい大健康プログラムは、UR、本学教員・学生が連携しながら、UR在住高齢者等に健康支援プログラムを提供しています。
千葉工業大学	1	全学部 教育センター（体育教室）	大学連携講座（パラスポーツ）	教学センター（研究支援担当）	千葉市政策企画課 平成29年度～	大学生を対象としたパラスポーツ講座（座学、体験）を実施し、パラリンピックへの関心を高めるとともに、競技普及の担い手育成を支援。
	2	未来ロボット技術研究センター	パーソナルモビリティ事業	教学センター（研究支援担当）	千葉市国家戦略特区推進課 平成28年度～	幕張新都心地区の歩道空間を活用したパーソナルモビリティのシェアリングサービスの実現により、これまで当地区の課題であった回遊性の向上を図るため、幕張新都心内の歩道を利用した近未来技術を活用したパーソナルモビリティの実証実験の実施。
	3	施設部	ドローン宅配事業	教学センター（研究支援担当）	千葉市国家戦略特区推進課 平成28年度～	国家戦略特区として市が取り組むドローン宅配等に係る技術開発等のための実証実験を行うため、千葉工業大学千種校地（グラウンド）をドローンフィールドとして無償提供（利用者は千葉市ドローン宅配等分科会技術検討会の構成員のみ）
	4	国際金融研究センター	各種学力状況調査分析事業	教学センター（研究支援担当）	千葉市教育委員会教育指導課教育センター 平成30年度～	各種学力状況調査のデータ分析を通して、市児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
	5	国際金融研究センター	REIWA	教学センター（研究支援担当）	千葉市環境保全課温暖化対策室 令和元年度～	千葉工業大学GiFr再生可能エネルギー・イニシアティブとして、自治体関係者や民間事業者、研究者等で再生可能エネルギーの一層の利用を図るべく、調査・研究を行う。

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
千葉工業大学 (続き)	6	学生センター	通級指導教室における情報教育の推進	教学センター (津田沼教務担当)	千葉市教育委員会養護教育センター 平成28年度～	市内LD等通級指導教室の発達障害のある児童生徒への指導のため、タブレットPCの整備・活用支援。
	7	全学部	未来の科学者育成プログラム	入試広報部	千葉市教育委員会生涯学習振興課 平成24年度～	千葉工業大学による講義や見学、ロボット操縦体験等の実施。
	8	創造工学部	「大賀ハス開花70周年事業」のプロモーション	教学センター (地域連携担当)	千葉市緑政課緑と花の推進室 令和3年度～	「大賀ハス開花70周年事業」のプロモーションのロゴタイプのデザイン作成
	9	創造工学部	市内学校や教育拠点等へのタブレット端末の寄贈及び活用	教学センター (地域連携担当)	千葉市教育委員会他 平成28年度～	児童・生徒による教育目的での活用のため、市内学校や教育拠点等へタブレット端末を寄贈し、有効活用を実施検討する。
帝京平成大学	1	健康医療スポーツ学部	「パラスポーツフェスタちば」	総務課 総務係 0436-74-5511	千葉市スポーツ振興課 平成28年～継続中	千葉市からのボランティア派遣要請により、千葉ポートアリーナにて開催された「パラスポーツフェスタちば」に、本学健康医療スポーツ学部の学生が運営ボランティアとして参加する。
	2	健康医療スポーツ学部	「千葉市オープンポッチャ大会」	総務課 総務係 0436-74-5511	千葉市スポーツ振興課 令和3年度～継続中	障害の有無や年齢に関係なく、全ての人と一緒に競い合える3対3で行うポッチャ大会で、競技部門とレク部門を実施する。健康医療スポーツ学部の学生が事前に審判講習等を受講し学生審判員として参加する。
	3	健康医療スポーツ学部	パラスポーツ講座	総務課 総務係 0436-74-5511	千葉市スポーツ振興課 平成30年～継続中 (新型コロナにより令和2・3年度は中止)	学生のパラスポーツ及び障害者への関心を高め、共生社会におけるパラスポーツ普及の担い手として在学中及び卒業後もパラスポーツと関わり続ける人材を育成することを目的とし、様々なイベントを開催する。
東京情報大学	1	総合情報学部	地域と情報大のヒト・モノ・コトを記憶するWebサイト「ちばActive!」の開発・運用	総合情報研究所 043-236-4710	花見川区地域づくり支援課 若葉区地域づくり支援課 平成25年度～継続中	ヒト・モノ・コト(地域活動や研究成果)を記録するためのWebサイト「ちばActive!」の開発と運用を行うことで、地域の魅力や歴史、イベントの告知や報告、情報大の研究成果などを発信しています(「ちばActive!」は、地域と情報大との連携について、過去から現在、未来へと人々の記憶をつなげるWebメディアを目指す)。※本事業は千葉市・市原市・四街道市による広域連携を支援するために四街道市役所経営企画部シティーセールス推進課とも連携しております。
	2	看護学部	千葉市若葉区在住高齢者への「動きの能力」学習プログラム導入による健康増進効果の検証	総合情報研究所 043-236-4710	都賀の台支え合い活動委員会 千葉市若葉区都賀の台自治会 平成29年度～継続中	千葉市若葉区在住の高齢者を対象に、キネステティクスによる「動きの質」の学習プログラムが、在宅で生活している高齢者の健康増進、または健康行動の変容にどのような効果をもたらすのかを明らかにする。※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止措置として休止
	3	総合情報学部	中学生の職業体験における大学の研究室訪問～千葉市教育委員会と連携で行うキャリア教育の構築～	総合情報研究所 043-236-4710	千葉市教育委員会 平成30年度～継続中	教育委員会(中学校)と連携し、中学生を対象とした職業体験をキャリア教育の一つとして定着させるためのキャリア教育プログラムの開発を行う。
	4	総合情報学部	千葉市の地域活性化のための映像制作とPR映像の活用方法の検討	総合情報研究所 043-236-4710	千葉市観光プロモーション課 若葉区地域づくり支援課 令和元年5月～令和3年度で終了	東京情報大学映像ゼミナールの学生の企画・取材・制作によるプロモーションビデオ(PV)制作プロジェクトおよび若葉区民まつりでの子ども向けショーの開催。
	5	全学部	市民公開講座	総合情報研究所 043-236-4710	若葉区地域づくり支援課 平成30年度～継続中	千葉市若葉区共催市民公開講座を開講
	6	全学部	公開講座	総合情報研究所 043-236-4710	— 平成3年度～継続中	公開講座を開講

大学名	No.	学部名	事業名	担当及び連絡先	連携先	連携内容等
					連携期間	
東京情報大学 (続き)	7	全学部	夏休み体験講座	総合情報研究所 043-236-4710	— 平成28年度～継続中	小・中学生を対象とした体験講座「夏休みの自由研究」を開講 ※令和2～4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止
	8	全学部	公開講座	総合情報研究所 043-236-4710	千葉市生涯学習センター 平成28年度～継続中	千葉市生涯学習センター共催公開講座を開講
	9	全学部	「若葉区民まつり」 の会場貸し出し	企画調整課 043-236-4704	若葉区地域づくり支援課 平成28年度～継続中	毎年11月に実施される千葉市若葉区主催「若葉区民まつり」のイベント会場として大学構内の貸し出しを行っている。 ※令和2～4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止
	10	全学部	職場体験の受入れ	総合情報研究所 043-236-4710	千葉市立千城台西中学校 平成23年度～継続中	千葉市立千城台西中学校の依頼に基づき、生徒の職場体験を受け入れている。 ※令和2～4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止
放送大学	1	総務部総務課	職場体験等の受入れ	総務部総務課 043-276-5111 (代表)	千葉県内の小・中・高等学校 通年	放送大学では、地域の小・中・高等学校と連携し、児童・生徒の職場体験等を受け入れています。 受け入れた児童・生徒については、事務局や附属図書館での就業体験等を通して、就業意識の向上や大学実務に関する理解を深めてもらっています。
	2	千葉学習センター	公開講演会	千葉学習センター 043-298-4367	千葉市教育委員会 年6回程度	従来より、本学教員や学外有識者による様々な分野の講演会を、本学学生のみならず地域住民の方々の生涯学習に資するため実施しています。令和4年度は公開講演会を6回開催しました。
千葉明德短期大学	1	保育創造学科	子育て支援 育ちあいのひろば たいむ	保育創造学科 043-332-2103	附属幼稚園、地域の乳幼児とその保護者、地域住民、子育て支援団体等 平成11年4月～継続中	本事業は、保育者を養成する本学の人的・物的資源を活用した社会貢献として、現在、重要な社会的課題となっている「子育て支援」に取り組んでいます。 令和2年度からは、新型コロナ感染症予防のため、開室曜日と時間、利用人数を限定して実施しています。 子どもとその保護者が集い、“ほっと”安心して過ごせる空間を提供し、楽しい時間を過ごせるよう支援しています。特に、保護者の主体的な活動の支援や、気軽に子育ての悩み等を保護者同士やスタッフも交えて話せるような場を作っています。
	2	保育創造学科	公開講座 めいトーク	保育創造学科 043-265-1613	幼児教育者、保育者等 平成15年～継続中	保育関係者等に研修の機会を提供するために、「公開講座めいトーク」を毎年開催しています。 今年度は、7月2日(日)に、「人とかかわる力を育てる ～わらべうた遊び・手遊びを通して～」をテーマにして、本学教員による実践発表、グループディスカッションによる参加者の園での取組みの共有・意見交換を行い、附属幼稚園の教員による「わらべうた・手遊び」実践を行い、人とかかわりを豊かにすることについて、考える機会を設けました。
	3	保育創造学科	あそぼうカー	保育創造学科 043-265-1613	千葉県内の保育現場 平成25年9月～継続中 ※令和元年度休止	平成25年度から始まった企画、「あそぼうカー」プロジェクトは、様々な「あそび」を千葉県内の保育現場まで届けていくためのプログラムです。企画の主な狙いは、保育者養成校が保育現場と積極的につながりを持つことです。「土粘土活動」からスタートし、現在までに延べ数千名を超える幼児が参加しています。現在の保育現場では、このような活動を提供できる余裕はなく、利用した園からは高い評価をいただいています。本プロジェクトには興味を持った在学学生もサポータースタッフとして参加することができ、有効な学びの機会となっています。活動には、保育現場の保育者自身も子どもたちと一緒に参加できるように進めています。令和2年度から、新型コロナ感染症予防のため、法人内の系列園に限定して実施していましたが、今年度からは、系列外の保育現場での活動も再開しています。
植草学園短期大学・千葉経済大学短期大学部・千葉明德短期大学	1	—	保育人材の量的及び質的な充実	植草学園短期大学 043-233-9031 千葉経済大学短期大学部 043-255-3451 千葉明德短期大学 043-265-1613	千葉市	「子ども・子育て支援新制度」(平成27年4月施行)により、「新たな幼保連携型認定こども園」に必要な「保育教諭」の養成を始め、様々な保育人材の量的及び質的な充実が求められる。千葉市内の保育人材育成課程を有する3つの短期大学と千葉市が連携して、効果的に各種研修等を実施することにより、優れた保育人材の育成を図り、地域の子ども・子育て環境の向上に貢献することを目指す事業である。 以下の事業を実施。 ・「子育て支援員研修事業」の基本研修(9・10月実施、1月実施予定) ・現任研修(11・12月実施、1月実施予定) ・「保育実践者の為の研修サバティカル」(12月実施) ・保育士キャリアアップ研修(9月～3月実施) 上記事業については、令和3年5月に設立された「特定非営利活動法人千葉市保育者研修センターMANABI」に移管済